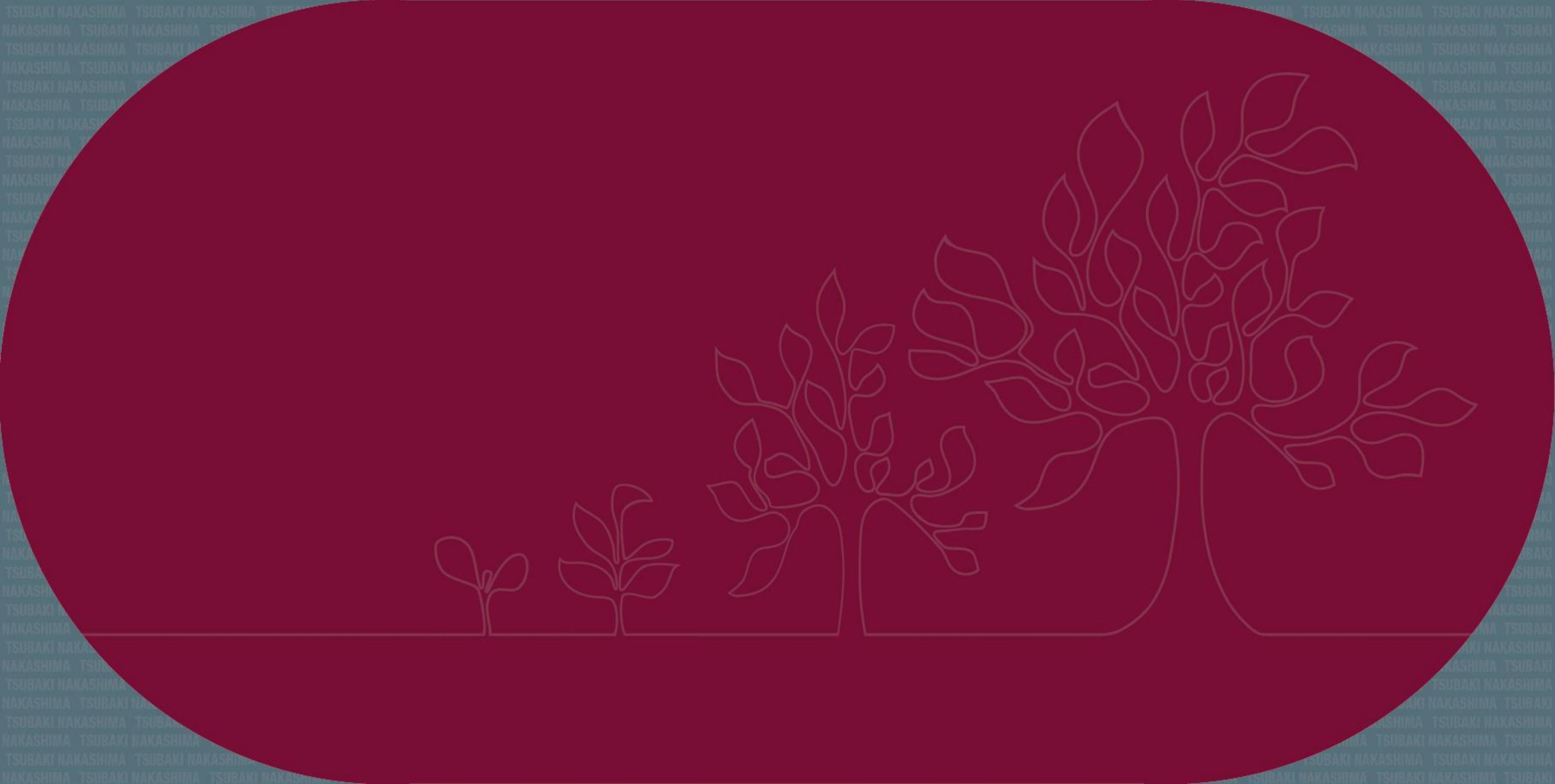


環境 社会 ガバナンス レポート



ツバキ・ナカシマ



ツバキ・ナカシマの第2回サステナビリティレポートとなる本レポートは、当社の世界に広がる20の工場の2020年の運営を明らかにする資料です。本レポートは、**環境に配慮した倫理的なビジネスとして成長し続けることを目指し**、特に、持続可能な利益ある成長、当社のステークホルダーへの配慮、および、ビジョン・ゼロ（事故ゼロ、職業病ゼロ、廃棄物ゼロ、不平等ゼロ、知識不足ゼロ）のアプローチに関連する事項に関して、透明性と良きガバナンスに対する当社のコミットメントを再確認します。過去の要素だけでなく、何よりも将来への強固な計画に照らして、価値の継続性を目指す当社の実際の進化を報告することを目的としています。2017年以降、当社は、人権尊重、職場の安全性、提供するサービスの質、お客様への配慮、環境、関係の透明性などの強固な柱を支えに成長してきました。これらの要素は、現在も強化されており、当社はこれらに投資を続けています。まさにこの理由から、私たちは投資を行い、サステナビリティレポートを作成することにしました。

本レポートは、ツバキ・ナカシマの事業戦略上の重要な項目を取り上げ、本レポートの記述を通じて、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に貢献するための当社の取り組みを報告します。

イノベーションを起こすということは、プロセスや仕組みを整える前に、従業員や協力者の信頼、文化、モチベーションを高めることにつながります。

それは、特定のビジネスにおいて卓越した存在となり、お客さまを満足させ、競合他社にインスピレーションを与える存在となるために、**改善を続け決して止まらない**ことを意味します。

サステナビリティレポートを定期的に発行することで、**ステークホルダーもって自分たちが何者であるか、何を表現したいのか**、を絶えず意識することができます。

人権の 尊重

職場の 安全

サービスの 品質

顧客への 配慮

環境への 配慮

関係における 透明性

本レポートは、ツバキ・ナカシマが、ビジネスのやり方を改善するために、すべてのステークホルダー、特に従業員、お客さま、サプライヤー、そして株主に働きかけ、関与させるために発行する2回目の非財務報告書です。本レポートは、私たちそれぞれの主観的価値観と個々の倫理観の自発的な結果でもあります。企業の責任はもとより、イノベーションを実現し、進化しようとする**個人としての責任感**が、当社を現在の位置に導いたことができます。イノベーションと持続可能性の間には重要な結びつきがあり、企業の倫理観の深さと、長期的に共有される価値を創り出すその能力は、私たち一人一人の責任感によって決定付けられるからです。

本レポートの枠組みは、グローバル・レポーティング・イニシアティブ（GRI）スタンダードの規定に準拠しています。本レポートの内容と形式に関する責任者は館尚嗣（CSO）およびフランコ・デット（CHRO）です。情報についてはこれらの責任者にご連絡ください。

改善を続け決して止まらない

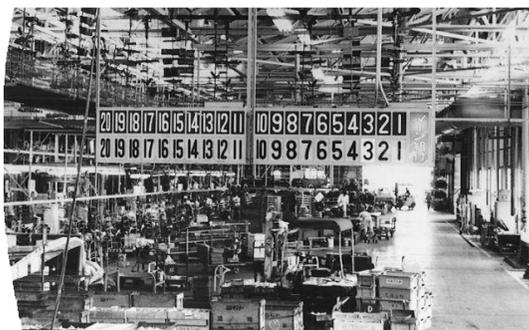


近森小三郎によって**1934年に創立された**東洋鋼球製作所が、自転車用鋼球の製造を開始しました。1954年に椿本鋼球製造株式会社に社名を変更し、1958年にはナイロン、ステンレス、黄銅およびタングステンカーバイド等特殊ボールの大量生産を開始しました。

1959年には椿本がボールねじの生産販売を開始し、1961年には**東京証券取引所および大阪証券取引所**の両方の市場第二部に上場されました。

1973年にセラミック球の生産販売を開始しました。

最近では、1996年に株式会社中島製作所と合併して現在の株式会社ツバキ・ナカシマが設立され、長期にわたる買収（米国、インド、中国、ポーランド、台湾、英国、タイおよび直近の2017年NN社PBC事業部門の買収）を行いました。



ツバキ・ナカシマは、幅広い**高品質の精密ボール、ローラー、ボールねじ**および**その他の精密部品**を生産している**グローバル企業**です。

当社は精密ボールの分野で高い世界的マーケットシェアを誇っており、当社の優位性の1つは、様々な材料とサイズが含まれる20,000種類超の高品質の製品ラインアップを有することです。**精密ボール**は主にボールベアリングに使用され、自動車や工作機械などの最終製品の品質と信頼性に貢献します。

精密ローラーは、精密ボールと同様な用途に加えて、油圧ポンプやモーターなどの特定の非ベアリング用途に使用されます。近年では、当社は、従来のスチールボールに加えて、大幅な成長が見込まれる**セラミックボール**の製造規模を戦略的に拡大してきました。セラミックは、軽量ながら高い強度、優れた絶縁性、耐摩耗性、耐熱性および耐食性を有し、EV（電気自動車）、風力発電機、MRIおよびCTなどの医療機器、5Gのインフラおよび技術等の通信に用いられます。**ボールねじ**は、主に工作機械で精度を左右する部品として使用されます。当社は、製鉄所、火力発電所、原子力発電所などのそれぞれの施設の用途に応じて中・大型の送風機も取り扱っています。

ツバキ・ナカシマは**医療機器**事業の分野で広く知られているブランドであり、金属ボールの軽量な代替品（金属の重量とアルミニウムの重量の6分の1未満）となる硬質プラスチックボールを生産しています。プラスチック材料の製法と熱可塑性プラスチック製品の進歩は、特定の用途と、プラスチックチューブ、シャーレ、その他プラスチック製消耗部品の高品質な射出成形において特定の分野で金属を上回ります。当社は、製品の品質を絶えず向上させ、**実質不良ゼロを達成**することを目指しています。製造プロセスの改善では、真球度を実現する**自社製作の研削機**と、お客さまのための安定した品質を確保する**独自の検査機**を開発しました。

3

か国に事務所



12

か国に

20

工場



新たな目標とその先を目指して



欧州

6

アジア

6

日本

4

アメリカ

4

20工場

株式会社ツバキ・ナカシマは日本の奈良県に本社を設けており、大阪、シンガポール、ソウルに事務所、12か国（日本、米国、イタリア、ポーランド、スロバキア、オランダ、英国、ボスニア、中国、タイ、インド、台湾）に20の工場を有しています。このため、ツバキ・ナカシマはお客様の多様なニーズ、現地調達、短納期、優れた顧客サポートに対応することが可能です。

10 THE NET

11 グローバルな展開

TWELVE NATIONS

欧州

- クラシニク (ポーランド)
- キスツツケ (スロバキア)
- コニーツ (ボスニア)
- ワージング (英国)
- ヴィーネンダール (オランダ)
- ピネロロ (イタリア)

アジア

- 郡山 (日本)
- 岡山 (日本)
- 葛城 (日本)
- 世知原 (日本)
- 台中 (台湾)
- シルバッサ (インド)
- 重慶 (中国)
- 昆山 (中国)
- 太倉 (中国)
- ラヨン (タイ)

北米

- スー・セント・マリー (米国ミシガン州)
- アーウィン (米国テネシー州)
- マウンテンシティ (米国テネシー州)
- カミング (米国ジョージア州)

グローバルな展開

世界の20工場

14 TRUE NUMBERS



12

か国

グローバルな組織



307

の異なる国籍
に属する

3,147

名の従業員



52,875

百万円

2020年度売上収益



16

17

当社の**企業構造**は、7名から成る取締役会と（7名から成る）経営会議により組織化される高レベルの会社組織で構成されています。

当社の組織図は、6つの地域および／または事業部門に分割される2つの大きな地域、3つの管理・戦略機能（財務および統制、人事および持続可能性、戦略）と、ものづくりの指揮下の4つの業務機能（エンジニアリング、購買、品質、工場マネジメントおよび継続的改善）に分かれています。

人は孤立して生きるものではない



絶え間ない改善と
真のグローバル企業を目指して
さらなる利益ある成長を
実現する

ビジョンと
経営理念

成長を通じて
ステークホルダーの信頼を築き、
地域社会とともに**繁栄**し、
より良い世界の創出に**貢献**する

ビジョンと 経営理念

当社のミッションは、成長を通じてステークホルダーの信頼を築き、地域社会とともに**繁栄**し、より良い世界の創出に**貢献**することです。当社は、ツバキ・ナカシマのビジョンと経営理念の実現を目指す行動とは、企業の社会的責任（CSR）活動であると考えています。当社は、コンプライアンスを確保し、企業倫理を遵守し、社会からの期待を上回るレベルで責任を果たすことに加えて、当社が開発、製造する製品を通じて価値を創造することによって、CSRの領域における当社独自の創造性を存分に実証していきます。

世界最高水準の製品・製造技術を継続的に進化させ、
地球環境へ貢献し続ける

マーケットとお客さまから発想し、弛まぬ創造力と挑戦で、最高のQCDS
(品質・コスト・納期・サービス)をお客さまに提供する

チームワーク豊かな企業文化を醸成し、人を活かし、働きがいと生きがいを大切にする

世界的視野に立ち、真のグローバル企業を目指す

利益ある成長を遂げ続ける企業を目指す

ツバキ・ナカシマグループは、持続可能な方法により、
製造を通じて新たな価値を創造し、幅広く社会に
貢献するために、世界のお客さまにさまざまな製品を
供給します。

経営理念

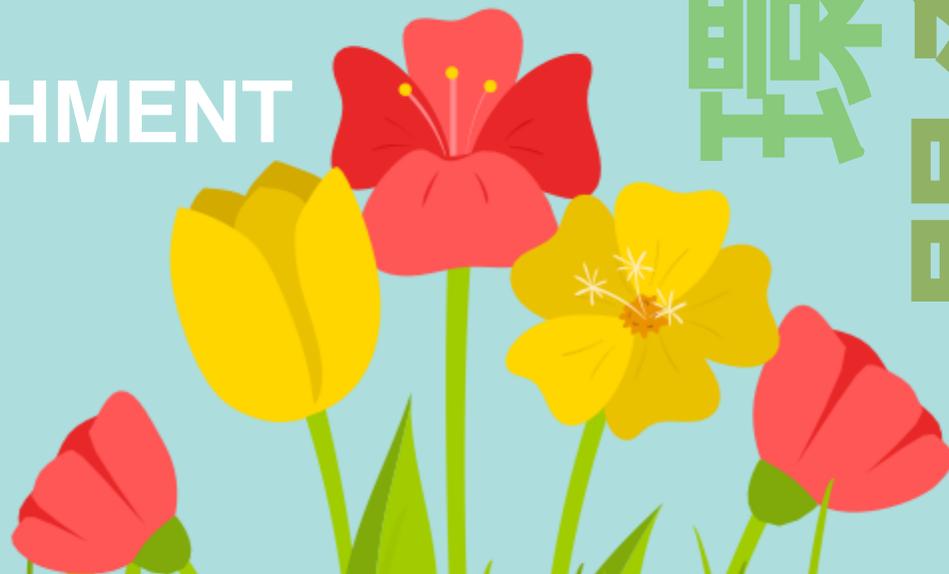
私たち

ビジョンと
経営理念



24 TRUE
NOURISHMENT

社会 利益 環境 開発

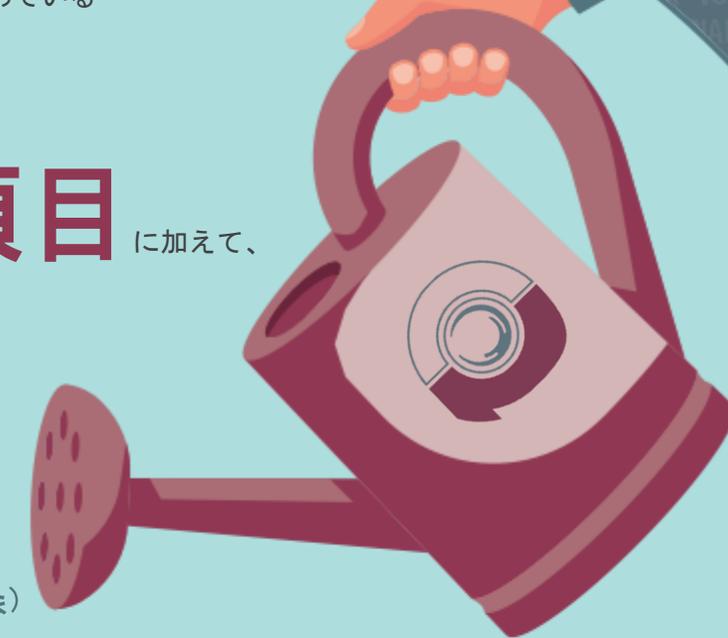


ツバキ・ナカシマは、そのサステナビリティ活動の枠組みとして定めている

5つの 重点項目

に加えて、

- 生産性の向上
- 知識の創造（社会・開発）
- クオリティ・オブ・ライフの向上（環境・社会・利益）
- 脱炭素社会の実現と（環境）
- リサイクル志向社会の実現（環境・社会）



当社グループのセラミックボールの販売をサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）として設定し、世界クラスの製品と製造技術を絶えず進化させることによって地球環境に貢献し続けることを目指しています。当社は、エネルギーと環境のパフォーマンスを向上させるセラミックボールの開発を通じて環境への貢献を高めることにコミットしています。ツバキ・ナカシマのセラミックボールは、軽量、強靱、長寿命で、絶縁性、耐摩耗性、耐熱性、耐食性に優れており、さまざまな製品の省エネルギーに貢献し、特に、風力発電、EVおよび医療分野での成長が期待されています。

ビジョンと
経営理念

企業倫理と企業の社会的責任は、当社の事業の基盤です。業務と人間関係における誠実さ、真剣さ、公正性、敬意、倫理および安全は、現在においても将来においても常に、ツバキ・ナカシマの活動の根本的な柱です。お客さまとサプライヤーとの間のウィン・ウィンのパートナーシップと、人材の強化、継続的育成は、当社の活動と選択における2つの主要な方向性です。ツバキ・ナカシマは、共有される価値の創造と、永続性のある協力のネットワークの構築を目指して、その豊富な国際的スキルとノウハウをお客さまや地域に提供し、製品、サービスの提供における卓越した存在になることを追求します。当社は、コンプライアンスを確保し、企業倫理を遵守し、社会からの期待を上回るレベルで責任を果たすことに加えて、当社が開発、製造する製品を通じて価値を創造することによって、企業の社会的責任の領域における当社独自の創造性を存分に実証していきます。

ツバキ・ナカシマでは、社会が当社に期待する役割を確実に果たすことを促進するために、経営理念、規範、方針およびシステムを国際的に認められた基準に密接に一致させています。ツバキ・ナカシマは、事業を展開している国と地域の法規制も理解し、遵守しています。



United Nations
Global Compact



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



International
Labour
Organization



International
Organization for
Standardization

企業の 社会的責任 国際的 基準



VISION ZERO

Safety. Health. Wellbeing.

倫理 文化 および価値観

ビジョンと
経営理念

企業の社会的責任のテーマ

ESG



ESG	1 NO POVERTY	2 ZERO HUNGER	3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING	4 QUALITY EDUCATION	5 GENDER EQUALITY	6 CLEAN WATER AND SANITATION	7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY	8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH	9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE	10 REDUCED INEQUALITIES	11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES	12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION	13 CLIMATE ACTION	14 LIFE BELOW WATER	15 LIFE ON LAND	16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS	17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS
製品およびサービス			✓	✓		✓		✓	✓		✓	✓	✓		✓		✓
グローバルな社会的トレンドに一致する事業運営			✓	✓		✓		✓							✓		✓
生産性の向上 - Motus 4.0				✓				✓	✓								✓
生産性のイノベーションと競争力																	✓
戦略的マーケティング							✓		✓								✓
エネルギーと資源の有効利用							✓				✓	✓	✓	✓	✓		✓
気候変動							✓				✓	✓					✓
環境への貢献（調達、生産）			✓			✓	✓		✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓
人権の尊重				✓	✓			✓		✓							
ダイバーシティ				✓	✓			✓		✓							
研修と育成、従業員エンゲージメント			✓	✓				✓		✓		✓					
サプライチェーン			✓													✓	✓
製品の品質と開発									✓			✓				✓	
コンプライアンス										✓						✓	
マネジメントシステム																✓	✓



68項目の
チェック
事項



ビジョンと
経営理念





ツバキ・ナカシマは、当社との雇用、協力、コンサルティングなどの関係を有するすべての人に向けたコン

プライアンス・マニユ

アル、企業倫理規範および関連方針を採択しています。コンプライアンス・マニユアル、企業倫理規範および関連方針は、一連の価値観と原則に基づいて、当社の取組みを際立たせる正しさと透明性のルールを定めており、これらの価値観と原則が規範の中で具体化されています。



当社グループは、グローバルな規模で事業を運営し、成長するために、透明性および客観性が高いコーポレート・ガバナンス体制の強化に努めています。さらに、効率性と専門知識を伴うグループ企業の経営機能を実現することによって、一体感のあるグループ・マネジメントシステムを確立しました。

当社のコーポレート・ガバナンス体制

は、監督機関としての取締役会、指名委員会、報酬委員会および監査委員会と、業務執行機関としてのMC（マネジメントコミッティ）およびRMC（リスクマネジメントコミッティ）で構成されています。監督と執行の分離が、監督機能の強化と迅速な経営の確保を通じて企業価値を高める手段になると考え、指名委員会等設置会社の組織設計を採用しました。

取締役会は7名の取締役（うち社外取締役4名）で構成されており、経営の基本方針を決定し、執行役による業務執行を監督します。それぞれの社外取締役は独自の専門知識を有しており、豊富な経験と幅広い見識に基づいて経営に関する助言の提供および意見交換を行うことによって監督機能を果たします。

指名委員会は、2名の社外取締役（うち1名は委員長）と1名の社内取締役で構成されており、指名の適正性を確保するために委員の過半数が社外取締役となっております。指名委員会は、取締役の選任、解任の提案の詳細を決定します。

報酬委員会は、2名の社外取締役（うち1名は委員長）と1名の社内取締役で構成され、報酬の適正性を確保するシステムを実施しており、取締役、執行役の報酬等に関する基本方針と、全員の報酬額を決定します。

監査委員会は3名の社外取締役で構成されています。監査委員会を構成する3名の社外取締役は、それぞれが異なる専門分野を有しており、多角的観点からの監査が可能になるという判断に基づいて任命されています。監査委員会は、取締役および執行役による業務の執行を監査、監督し、株主総会に提出される会計監査人の選任、解任に関する提案の内容を決定します。また、専任の常勤監査委員会補助人が監査委員会の補佐を行う体制を構築しています。

コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス推進体制

経営全体について責任を負う代表執行役社長の監督の下で、主に、人事、コンプライアンスおよびサステナビリティ担当執行役（CHRO）がコンプライアンスを推進しています。

さらに、内部監査を実施し、コンプライアンス状況を確認するために、代表取締役社長直属の**内部監査室**を設置しました。

加えて、取締役およびその他の役員のコンプライアンス状況を監査するために、監査委員会の直接の監督下に監査委員会補助人を設けました。
内部監査室、監査委員会補助人および会計監査人は、必要に応じて情報を共有し、連携を強化します。

当社グループは、2018年に不適合製品の問題に直面しました。この問題の再発を防止するために、代表執行役社長の直接の管理の下で**再発防止委員会**を開催し、関連部門のモニタリングを導入しました。再発防止委員会は現在も会議を継続しています。



コーポレート・
ガバナンス

具体的な 方針



32

TRAINING NEVER STOPS

当社は、不適合製品の問題と、ステークホルダーの信頼を損なう可能性のあるその他のコンプライアンス上の問題の発生を防止するために、**全従業員のコンプライアンス研修**を実施しています。

2019年度には、不適合製品問題の再発を防止するために、問題の背景と予防措置について説明し、2020年度には、**新たな企業倫理規範と関連方針**に関する全従業員の研修を実施しました。

33

ツバキ・ナカシマは、個人的な関係および活動が、ツバキ・ナカシマとして客観的な業務判断能力を妨げないよう、先を見越した対応を行っています。当社は、利益相反を示す可能性がある状況の種類を認識し回避します。

利益 相反

第三者との エン ゲージメ ント	サプ ライ ヤーとの 協力	人間関係と 家族
---------------------------	------------------------	-------------

ツバキ・ナカシマでは、お客さま、ビジネスパートナーおよび従業員の個人情報を保護し、その信頼に応え、**当社の社会的責任を果たす**ように行動しています。データ保護方針は、当社が事業を展開しているすべての国で適用される規則を定めており、個々のグループ企業は同方針を逸脱する規則を採択することができません。すべてのユニットが、遵守しなければならない**適用されるあらゆる国際的な**、地域、国内の規則、規範および法律（欧州のGDPR、日本の個人情報保護法（APPI）、米国のデータ保護法等）を特定しなければなりません。データ保護方針は、個人データのすべての処理に適用されます。法人のデータが個人データと同程度に保護されている国では、データ保護方針は法人のデータにも等しく適用されます。

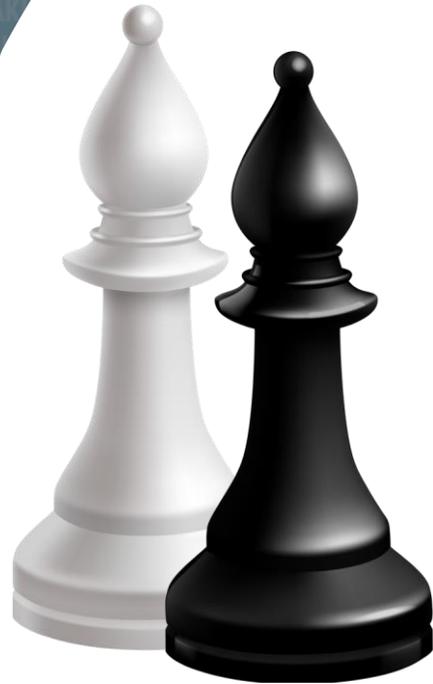
個人データ 保護

当社の**規制トラッキング方針**は、ツバキ・ナカシマが、関連性のある国際的なおよび地域社会の活動と、責任ある立法、規則、基準および技術の開発への参加を実践する支えになっています。同時に、この方針は、法規制に関する情報が正確であり、適時に受け取られることを確保するため、ならびに、特定の組織環境における国際的な、地域、国、当社のおよびその他の適用要件の適用可能性と、法規制に従って組織を運営するために必要な認可、許可、免許を理解し、その経過を追跡するために、全社プロセスを適用することを、すべての組織に要求しています。

法 規制

福祉の 保護

この方針は、勤務中のチームメンバーとすべてのステークホルダーに**期待される追加的な行動基準**を定め、すべての従業員が適用される法規制を遵守することを支援し、意思決定プロセスを導き、申し分のない人格へのコミットメントを強化しています。方針には、法律によってもたらされる要件と、ツバキ・ナカシマの企業倫理規範、哲学、文化およびツバキ・ナカシマの経営理念によってもたらされる要件が含まれています。ツバキ・ナカシマのチームの一員として、**それぞれの従業員は自身だけでなく互いに配慮します**。ツバキ・ナカシマが安全、健康および社会的責任を推進するのは、当社だけでなく、仲間のチームメンバー、友人、家族、地域社会にとっても人々が大切だからです。



具体的な 方針



ツバキ・ナカシマは、**共有ノウハウ**の力を大切にします。当社は、前向きで持続性のある関係を築くことによって事業を成長させ、職場環境を改善します。具体的には、**ダイバーシティ、インクルージョン、機会、および、ハラスメントがない職場**に関する一般的なルールを方針に定めています。

前向きな 関係を作り出す

ツバキ・ナカシマ（TN）は、**人権尊重**にコミットし、労働基準を支持する組織です。この尊重とコミットメントは、TNが事業を展開しているすべての地域社会におけるTNの事業体の成功の柱です。労働基準方針は、**世界人権宣言**に定められた原則に沿っており、**TNの経営理念および企業倫理規範**と相まって、社内および社外のすべてのステークホルダーが尊厳と敬意をもって処遇されることの確保に対するコミットメントを強化しています。買収、新規事業およびその他の契約上の取決めに入る際のデュー・ディリジェンスの一環として、ツバキ・ナカシマは、労働基準と人権問題が特定され、評価されることを確保するために、この文書に定められている要件の厳守に務めます。この方針の目的は、労働基準と人権に関する当社の原則の遵守、支持におけるツバキ・ナカシマ、その従業員および提携先の責任を定めることです。

労働
基準

具体的な
方針

ツバキ・ナカシマは児童労働を受け入れません。

児童労働は、児童が従事する労働のうち、児童が従事することが法的に禁止されているもの、児童の健康もしくは身体的、心理的、精神的、道徳的もしくは社会的発達に有害となる可能性があるもの、または、児童の教育を妨げるものと定義されます。

ツバキ・ナカシマは、次の事項を明記した国連とILOの条約を支持します。

児童 労働

ツバキ・ナカシマは児童労働を受け入れません。

児童に関するすべての措置は、児童の最善の利益を十分に考慮したものでなければならない。

経済的搾取と、危険を伴う可能性のある、児童の教育を妨げるまたは児童の健康もしくは身体的、心理的、精神的、道徳的もしくは社会的発達に有害な作業の実施から保護される児童の権利。



均等な 機会

ツバキ・ナカシマは、能力に基づいて人員を採用、育成し、昇進させます。当社は、差別とハラスメントがない職場環境を維持することを望んでいます。機会均等は、雇用のあらゆる側面において公正にかつ差別なく個人を処遇することを意味します。差別は、法律上禁止されている理由で他の者より不利に個人を処遇することを意味します。不法な差別の根拠には以下の事項が含まれます。

	性別	子の有無	婚姻状況	家族に対する責任	障害 機能障害	民族
		政治的信条 または活動	宗教的信条 または活動	年齢	結社の自由	
	身体的特徴		迫害			
		利益相反				

ツバキ・ナカシマは、人々の権利と自由の尊重を基礎とする企業、組織およびマネジメントのプロセスの採用を通じて、ダイバーシティとインクルージョンの価値観を支持することにコミットしています。この目的で選択された道筋は、ダイバーシティを保護、統合化するために設計されたアプローチから、文化的ステレオタイプを克服し、職場でのインクルージョンを妨げる要因を特定してそれに対処する積極的戦略に移行するように、ダイバーシティの問題に対処する方法を発展させることを目指しています。当社は公正に事業活動を行い、いかなる形式の直接または間接的な差別も容認しません。当社は、組織における人々の十分な参加と潜在能力の完全な発揮を制限する文化的、組織的および物質的な障壁を取り除くことを可能にする条件の整備も促進します。TNIは、個人の尊厳を尊重する労働条件と行動ルールを通じて、職員の価値観を守り、その精神物理学的、道徳的および文化的完全性の保護を促進します。



インクルージョン とダイバーシティ



具体的な 方針

ツバキ・ナカシマは、**共通の利益を促進、追求し、擁護するために**他者と協力する個人の権利を支持します。当社は、市場の慣行に合致し、各々の知識や技能と業績に応じた給与と福利厚生を従業員に提供しよう努力します。

賃金と手当は、適用される法律上および規制上の最低要件と同等以上であり、適法に結成されている労働組合と交渉された協定に従わなければなりません。

結社の
自由

労働
条件

団体交渉

ツバキ・グループの各地域の社長と、製造、品質、販売、技術、財務および人事を担当するグローバル機能部門のマネージャーは、当社の事業活動に内在する個々のリスクを分析、評価する責任を負っています。重大なリスクが特定された場合には、それぞれの地域で実施されたリスクの分析と評価を精査するために**リスクマネジメント委員会**（RMC）が招集され、執行機関である**マネジメント委員会**（MC）に結果を報告します。MCは、これらのリスクへの対応方法を議論、決定することに加えて、速やかに取締役へ報告し、重大な損失の発生が予想される場合には対策を講じます。

リスク
マネジメント

具体的な
方針

ツバキ・ナカシマの活動の目的の1つは、**環境をよりクリーンに、より効率的に、そして何よりも安全に**することであり、この目的は、予防措置と、環境に優しい技術および持続可能なアプローチの採用に反映することが可能です。CEOと経営会議の指揮の下で、ツバキ・ナカシマのCSO（経営企画、事業戦略およびM&A担当取締役）がESGの推進を担っており、インベスター・リレーションズ部門がこれを支援します。

CHRO（人事、コンプライアンスおよびサステナビリティ担当取締役）は、グ

ローバルな活動を正しい方向に導くために、**ワンチーム**・マネジメントシステムとグローバル・サステナビリティシステムを構築しました。当社のグローバル業務担当取締役は、具体的なサステナビリティのプロジェクト（廃棄物削減、エネルギー等）の管理を担います。確立された方向性は、それぞれの地域のプレジデントを通じて工場レベルの具体的な活動に組み込まれます。

環境と
規制

社会とガバナンス

推進構造



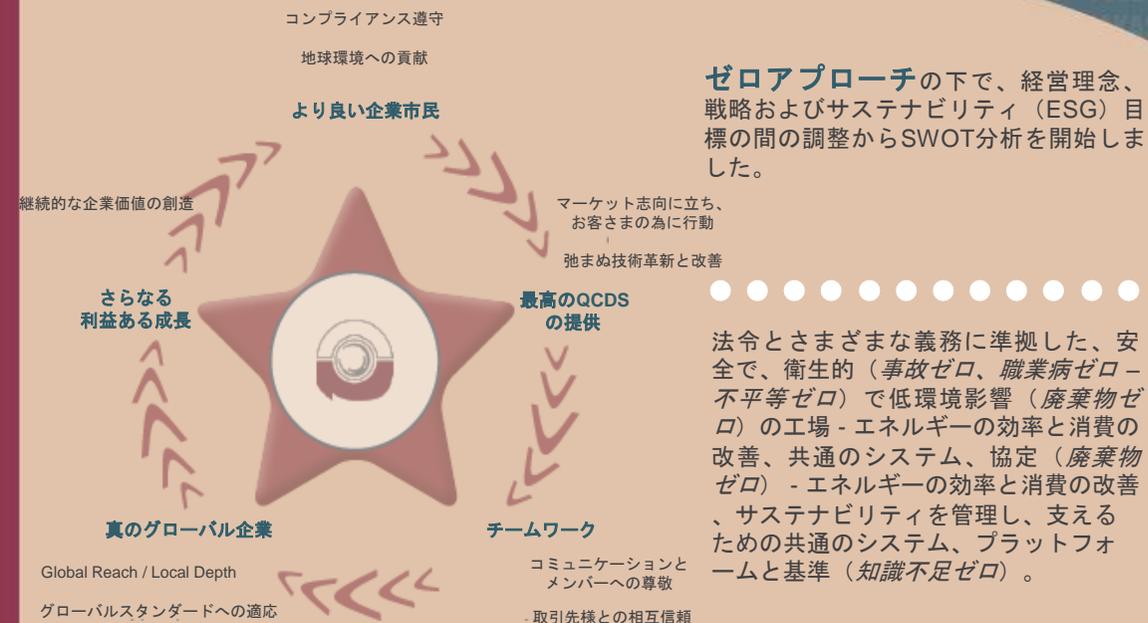
当社の経営者は、最も幅広い情報をステークホルダーに提供するために、永続的な価値の創造を強調する目的で、GRIスタンダードと統合報告書の原則とを一体化した資料を作成することを決定しました。統合報告書は、戦略、業績、および、企業が事業活動を行っている社会の構成要素との関連性を強調することを目指す新たな企業報告のアプローチです。

ツバキ・ナカシマの現状分析

この枠組みの目標は、統合報告書の一部となる指針と内容を明確にすることであり、情報の質の向上を通じて、組織が永続的にどのように価値を創造することができるのかを金融資本提供者に示すことを主な目的としています。

サステナビリティ (ESG)

当社は、現状を客観的に分析し、サステナビリティ（環境、社会、ガバナンス）に関して、企業を特徴付ける強み（Strengths）、弱み（Weaknesses）、機会（Opportunities）および脅威（Threats）を評価することで意思決定プロセスを促進し、事業目的を達成するために使用される戦略策定ツールであるSWOT分析を具体化しました。



ゼロアプローチの下で、経営理念、戦略およびサステナビリティ（ESG）目標の間の調整からSWOT分析を開始しました。

法令とさまざまな義務に準拠した、安全で、衛生的（事故ゼロ、職業病ゼロ、不平等ゼロ）で低環境影響（廃棄物ゼロ）の工場 - エネルギーの効率と消費の改善、共通のシステム、協定（廃棄物ゼロ） - エネルギーの効率と消費の改善、サステナビリティを管理し、支えるための共通のシステム、プラットフォームと基準（知識不足ゼロ）。



SWOT

SWOT

VISION ZERO
Safety. Health. Wellbeing.



内的
要因

S

サステナビリティは戦略的資産とみなされ、経営戦略に含まれています（環境マネジメントの向上によって廃棄物の発生量とコストが削減される。エネルギーマネジメントの改善によって消費量とコストが削減される）。

多文化の企業とグローバル/多民族/機能的な組織 - 地域/工場間の相互支援システム、材料、設備、機械、製造フロー等を標準化するプロセス

低傷害発生率と職業病ゼロ

グローバル・サステナビリティシステムと最低技術基準

工場の多くが既に少なくとも1件のISO認証を取得済み

多くの工場でエネルギー評価が実行され、エネルギープロジェクトはモノづくりの重要な項目

< 有益 >

O

ほぼすべての国における潜在的な「グリーン」インセンティブ

サステナビリティは資産として認識されている

自動化と人工知能によって傷害のリスクを低下させることが可能

共通の国際的基準とそれに基づく地域の規制

外的
要因

一部の老朽化した工場や機械による安全リスクおよびエネルギー使用量の増大と潜在的な環境影響

エネルギーは必ずしも機会とみなされない

文化と言語の障壁

文書、最良慣行等を共有するための共通の電子プラットフォームが適切に機能しない

監査人のための共通の基準の欠如

> 有害 <

W

パンデミックの問題と不況がサステナビリティプロジェクトの実施を遅らせている

エネルギーコストの上昇

研削スラッジなどの廃棄物処理費用の増加

T

外的
要因

SWOT



全社レベル
の分析

当社グループは、ステークホルダーとの間の**長期的な協力**に基づく**信頼関係**の維持、構築を非常に重視しています。ツバキ・ナカシマは、世界全体の数多くの主体と交流があり、人間尊重、職場の安全、提供するサービスの品質、環境への配慮、関係における透明性および社会的責任などの強固な柱をその関係の基礎にしています。

ステークホルダーとのエンゲージメント活動によって、報告の範囲を明確にすること、および、異なる性質の関係ごとに当社に結びついている主体を特定するステークホルダーのマッピングを構築すること、ひいては、より広範な相互関係のネットワークに位置付けることが可能になりました。

ツバキ・ナカシマは、ISOの要求事項に従って、内部および外部のステークホルダーという主な2つのカテゴリーに分割することによりステークホルダーを特定しています。

当社のステークホルダー

46



内部のステークホルダー

は、株主と企業経営者だ

けでなく、何よりも、**当社の心臓部であり**、ツバキ・ナカシマを代表して毎日お客さまと直接接している従業員および協力者を表します。当社は、360度の意識向上研修、特に、職場の安全などの根本的問題や、**厳格な倫理基準**により確立される原則に関する研修を通じた従業員の統合化と明確な動機付けの価値を、強く信じています。株主と企業経営者は、倫理的および道徳的な原則に従って、かつ、それを共有して、当社の戦略および事業を先導します。

外部のステークホルダー

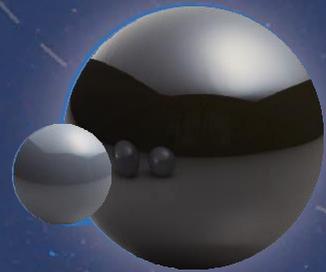
には、厳密な評価システムを

通じて、かつ、当社のQMSとGSSIに準拠したコンプライアンスに基づいて選定されたサプライヤーと契約業者が含まれます。ツバキ・ナカシマのサプライヤーであることは、当社が指針とする倫理基準を各々のサプライチェーンとバリューチェーン全体にも及ぼすことへのコミットメントを意味します。お客さまは重要な外部のステークホルダーです。

両者（外部および内部のステークホルダー）が、ツバキ・ナカシマの活動に関する正当な期待を有しており、最も関連性の高いステークホルダーに関しては、当社が提供するさまざまな共有ツールや定期的な会議を通じて、明確な方法と匿名の方法（すなわちアンケート）の両方で意見と提案を表明することが可能になっています。当社は、これらの傾聴プロセスの寄与によって、ステークホルダーのニーズを理解し、当社の活動とステークホルダーに対するその影響を改善するために評価する機会を得ることができます。一般的に、ステークホルダーの関与は、インクルージョンの原則に従って行われており、ツバキ・ナカシマは、この原則を通じて、内部のすべてのステークホルダーによる企業生活と戦略的決定への積極的な参加を奨励することを約束しています。

47

背景 分析



精密セラミックボール

医療向け製品

カスタマイズ製品



精密スチールボール

ボールねじ



硬質プラスチックボール

風洞



ガラスボール

CMMリファレンスボール

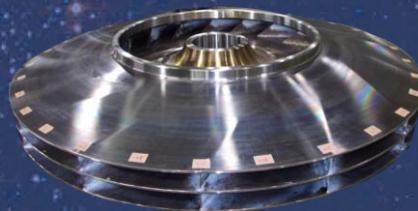
電力用製品

設計用の
特注金型治具

その他



精密ローラー
スタンピング部品



大型送風機

ボールウェイ

Tsubaki
Nakashima

製品ラインアップ

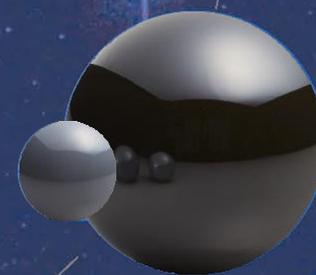


精密 スチールボール

ベアリング用スチールボール、ステンレス鋼ボール、炭素鋼ボール、クローム鋼、ニッケルクロームモリブデン鋼、炭化タンゲステン合金ボール、非鉄金属ボールは、静かな動作を確保するために、毎日の生活用のさまざまな製品で使用されており、これには、エアコン、冷蔵庫、掃除機などのホームエレクトロニクス製品が含まれます。当社の精密部品の精度の高さは、当社の多様な顧客のニーズに対応する最高の耐久性と品質を確保しています。



精密 ローラー、 スタンピング部品



精密 セラミックボール

ファインセラミックスは軽くて丈夫です。優れた絶縁性を有するだけでなく、耐摩耗性、耐熱性、耐食性にも優れています。当社のセラミックボールは、これらの特性を活かし、工作機械のスピンドルモーターやターボチャージャー、歯科用ドリルなどの高速で回転するベアリングに採用されています。セラミックボールは、水処理や食品用途の流体制御のための計量ポンプのチェックボールとしても使用されています。当社のセラミックボールは、風力発電機、電気自動などの環境にやさしい用途の未来の創造と、5G技術を支える半導体製造装置に不可欠です。

精密ローラーの最大手独立系製造業者としての当社の業界における地位は、TNが幅広い顧客仕様に適合する製品を提供する柔軟性をもたらしています。当社のローラー技術は、摩擦を低減し、より重い荷重に耐え、最も過酷な条件に耐えることが実証されており、TNのローラーが含まれるベアリングが可能な最も長い耐用年数を有することを確保しています。当社の完全に自動化されたトランスファープレスでの深絞り加工や金型プレス技術は、当社がさまざまな精密シートメタル部品（テーパーローラーケージ、スフェリカルローラーケージと、自動車および産業市場向けのその他の製品が含まれます。）を製造することを可能にしています。このプロセスは高い精度を実現し、製品全体の性能を向上させます。



Tsubaki Nakashima 製品

当社は、高品質で価格競争力のあるプラスチックチューブ、シャーレ、その他プラスチック製 Disposable 製品の射出成型を得意としています。厳しい公差、特殊な色、透明度または光透過率、ロット間の完全性が不可欠な場面の高度な技術を伴う最先端の射出成型とクリーンルーム技術を用いています。当社のクラス8に準拠（ISO13485:2016認定）したFDA登録のクリーンルームで、特殊射出成型プラスチック部品を製造することが可能です。

医療向け製品

受託クリーンルーム射出成型のFDA登録
用途例

- 静脈内治療用チェックバルブ
- 高速歯科用ドリル
- X線マーカー
- 手術器具
- メディカルテスター分析と診断
- 気道と呼吸器

- 内視鏡洗浄
- 消毒機
- 血液透析
- 血液処理装置
- 食塩水洗浄と冷却
- 腫瘍焼灼



硬質プラスチックボール

硬質プラスチックボールは、金属ボールの軽量な代替品です。金属の重量とアルミニウムの重量の6分の1未満であり、プラスチック材料の製法と熱可塑性プラスチック製品の進歩は、特定の用途において金属を上回る可能性さえあります。これのボールは、軽量化、低騒音化、耐腐食性または着色性が要求される用途に使用することができます。一般的な用途は軽量ベアリング、チェックバルブやプラグボールです。



カスタマイズ 製品

当社の精密ボールの標準セレクションと併せて、当社のSpheric Trafalgarブランドは、あらゆる産業分野のエンジニアの厳しい要求を満たすさまざまなカスタマイズ製造の計測製品を供給することができます。



UKASキャリブレーション - 当社研究所では1mmから60mmまでの精密ボールでUKAS認定の測定証明書を発行することができます。測定精度は±0.00025mm以内です。

精密測定機器設定用

CMMリファレンス ボール

治具と位置決め器具の汎用ツーリングボール、内径を測定するための球形プラグゲージ、特殊タングステンカーバイドボールの生産。

設計用の 特注 金型治具



ガラス ボール

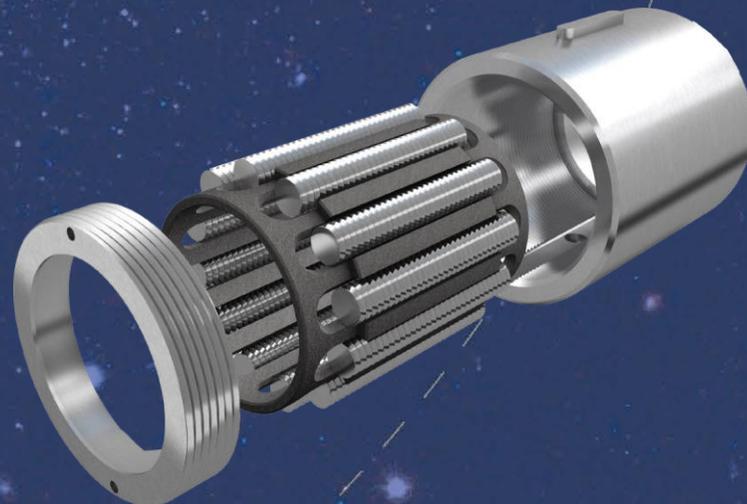
当社は、原材からの一貫生産体制を確立しています。このシステムに当社のスチールベアリングボールの生産技術を適用することにより、高品質の製品を低価格で提供することができます。

ボール ねじ

当社は、小型から大型までの製品、高負荷対応品、高精度な転造品の比類ないラインアップを有します。これらの製品は、工作機械、電動射出成形機、半導体製造装置、産業用ロボット、先端医療機器などに多く使用されています。

ボール ウェイ

この製品の特徴は、4方向4等定格荷重、高モーメント荷重、チューブ式であり、同時に長寿命、高剛性および高速運転を提供します。この製品は、機械での芯出しのしやすさに定評があります。ボールねじと同様に、ボールウェイはさまざまな業界で使用されています。



Tsubaki Nakashima 製品

Tsubaki Nakashima 製品

風洞

風洞は、自動車、バイク、スポーツウェアや建物の設計の改良を続けるための貴重な流量データをもたらします。ツバキ・ナカシマの送風機は、この技術の進化を支える一貫した正確な気流を提供します。

電力需要は年々増加しています。世界的な電力需要の拡大に伴い、安定した電力供給の重要性はより高まっています。原子力発電所や火力発電所内の製品、サービスに関する当社の実績は、これらの厳しい要求を満たすことに対する当社のお客さまへのコミットメントを証明しています。

FDF

ターボ型ファンの羽根は航空機の翼の形状を再現しています。このファンは、すべての遠心送風機の中で最小の騒音で最高の効率を実証しています。FDFの流量を制御し、省電力をもたらすインレットガイドベーンを備えています。

電力用製品

IDF

セラミック製のまたは硬化したプレートが羽根の表面に取り付けて、摩耗性環境用の製品を準備することができます。

PAF

当社は、翼型ファンと同等の効率を持つ独自の高効率タイプのターボファンを開発しました。初期コストとランニングコストを削減するのに最適です。

大型 送風機

鉄鋼産業は高温高圧という過酷な条件下での安定稼働を要求します。当社は、安全で信頼性が高く、耐摩耗、耐腐食、高温、特殊ガス(COG、LDG、BFG等)に対応した製品を提供しています。個々の顧客ニーズに対応するために納入後サポートも提供します。代表的な用途は、OG設備用IDF、COGブースター、蒸気排出用送風機、集塵機用送風機、直引用送風機、塩酸回収用送風機、N2パーズ用送風機、予熱用送風機、BUF、排炭機です。

その他

信頼性の高い換気は、地下鉄や道路トンネルだけでなく、鉄鋼、化学処理などの製造用途に不可欠です。

ツバキ・ナカシマの高品質送風機は、このような環境で要求される耐久性と安全性を提供します。当社の綿密な設計と一貫したサポートは、お客さまが継続的にその装置を最大限に生かすことを可能にします。

高圧ブロー

(ステンレス鋼)

多段インペラーは、送風機などの広範囲の用途をカバーする遠心送風機です。

地下鉄用ファン

ターボ型ファンの羽根は航空機の翼の設計に従っています。このファンは、すべての遠心送風機の中で最小の騒音で最高の効率を実証しています。

多段インペラー

多段インペラーは、広範囲の送風機用途をカバーする遠心送風機です。



用途



品質



ツバキ・ナカシマ

品質マネジメントシステムと品質部門は、当社の企業経営理念に含まれている中核的コミットメントの1つである顧客満足を達成することを目的としています。

当社の品質ミッションは、**当社の内部および外部のお客さまの全体としての成功を促進することを目指して、組織を支援し、効果的な品質の枠組みと技術的知識を確立、改善することです。**

当社の品質マネジメントシステムは、以下の
リスクベースの思考アプローチを用いて
います。

データを利用可能で容易に監視できるようにするために、
グローバル品質スコアカードを開発しました。

より強固なサプライヤー基盤を固めるための
サプライヤー品質マニュアル

内部のグローバル監査チームの能力を**特別な研修**
によって強化し、プロセスの有効性と技術的内容を
向上させるツールの開発に取り組んでいます。

製品に関しては、クレーム管理とカスタム型式の
承認監査に関する現地の品質部門の支援を継続し、
APQP手法（**先行製品品質計画**）の開発を続け
ています。**デジタル品質開発**への投資も行いま
した。

品質パフォーマンス

継続的改善

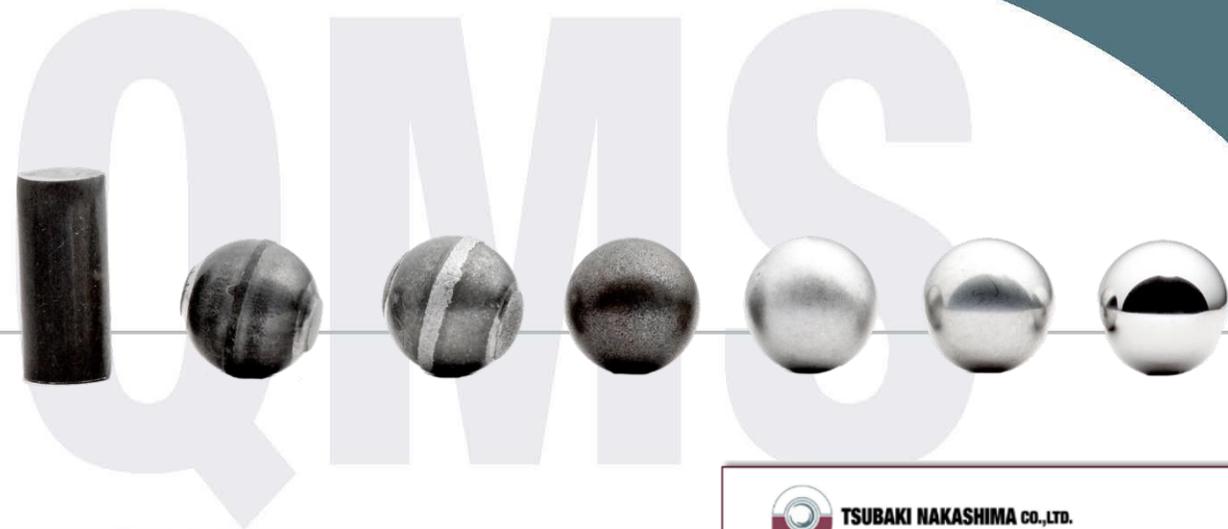


共通の
QMS

不良ゼロ
アプローチ

品質

当社は、品質方針に従って、当社のすべての拠点において**お客様の期待を満たす高品質の製品を一貫して製造**することを可能にするシステムを設けました。2019年には品質マネジメントシステムを更新し、世界全体にわたる**グローバルQMS**を確立しました。これにより、当社のすべての拠点で製造される製品の品質を統一することが可能になっています。2020年3月末現在、**当社の22のグローバル拠点のうち19拠点がISO9001認証、17拠点がIATF16949認証**を取得しています。グローバルに品質を維持、改善するためのKPIとして、苦情件数、内部不良率、CNQ（苦情対応を含む品質関連のコスト）の目標値を設定し、改善活動に結びつけています。品質に関する監査として、内部監査と、内部監査ガイドラインに基づく監査も各拠点で実施しています。両方の監査において、品質、製品およびシステムという3つの側面から品質をチェックすることにより監査の精度を向上させています。2020年3月末現在、監査人資格を取得した従業員は世界全体で108名、日本国内で8名となっています。



S 具体性

管理するものを具体的に示し、当社の高品質、高精度部品の製造におけるトップ地位の継続と向上を目指す。

M 測定可能

お客様の仕様とパフォーマンスの評価が測定可能であるように、当社のプロセスとパフォーマンスも測定できるものでなければならない。

A 達成可能

達成可能で、明確に定義づけられた目標は、当社の全般的な品質・サービスパフォーマンスの継続的向上にとって不可欠である。

R 関連性

お客様とステークホルダーの期待を超えるために、関連する根本原因に重点的に取り組む。

T 時間

信頼を築き、お客様やステークホルダーとのパートナーシップを高めるために、明確な改善およびビジネス開発プロジェクトのタイミングに関する期待値を設定し、実践する。

TSUBAKI NAKASHIMA CO.,LTD.

品質方針 ←

S **具体性**
管理するものを具体的に示し、当社の高品質、高精度部品の製造におけるトップ地位の継続と向上を目指す。

M **測定可能**
お客様の仕様とパフォーマンスの評価が測定可能であるように、当社のプロセスとパフォーマンスも測定できるものでなければならない。

A **達成可能**
達成可能で、明確に定義づけられた目標は、当社の全般的な品質・サービスパフォーマンスの継続的向上にとって不可欠である。

R **関連性**
お客様とステークホルダーの期待を超えるために、関連する根本原因に重点的に取り組む。

T **時間**
信頼を築き、お客様やステークホルダーとのパートナーシップを高めるために、明確な改善およびビジネス開発プロジェクトのタイミングに関する期待値を設定し、実践する。

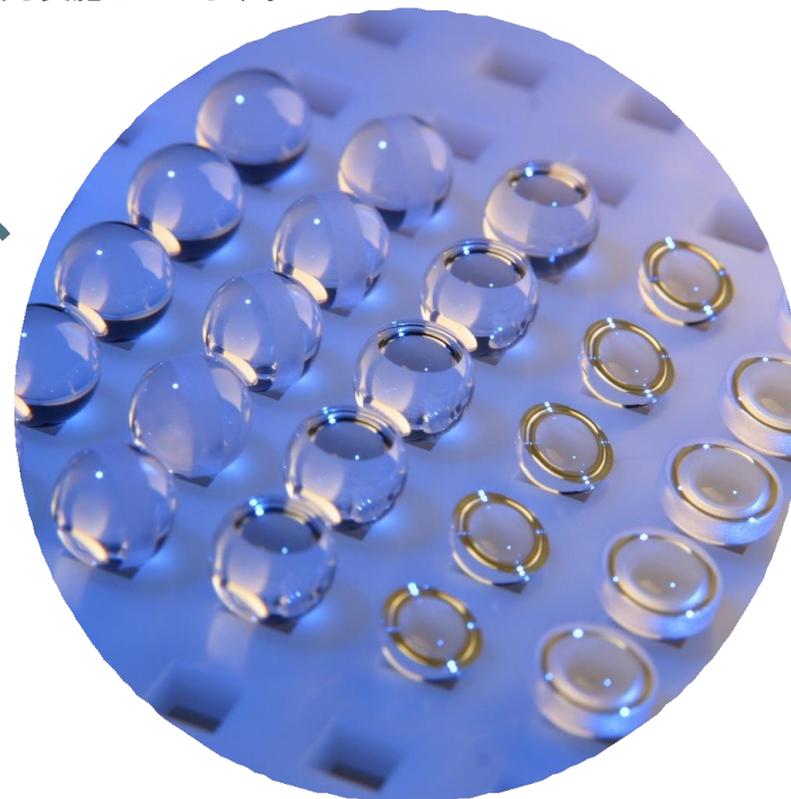
代表執行役社長
CEO
廣田浩治

品質&中央研究所
ディレクター
S. Pizzo

品質方針

自社製作設備の開発

当社グループの主力製品である精密ボールは単純な球形の形状であるため、品質管理においては製品設計よりもプロセス設計が重要となります。**当社グループでは、製造に使用する機械の多くを内部で製作しており、製造機械と製品形状に合わせるために、検査装置の一部も内部で製作しています。外部基準を満たすために、荷重と寸法の測定には市販の音響計測器と装置を使用していますが、球体の外観検査などの市販の製品では対処が不可能な部品も製作しており、より効率的な測定のために市販製品をカスタマイズしています。より高水準の品質管理を達成するために、検査装置の適切な保守、点検も実施しています。**



追跡システム

当社グループは、すべての製造プロセスをチェックするための追跡システムを導入しました。これによって、誤った原材料の混入やプロセス飛ばしなどのミスが防止されます。さらに、このシステムは、製品が経由したプロセスと、製品が受けた検査に関するデータを自動的に出力し、出荷後にお客さまからの照会があった場合にプロセスを遡って詳細を確認することを可能にしています。**ヒューマンエラーをゼロまで減らす**ために、すべての検査データを自動的に把握することを目指しており、2022年までにすべての検査データの自動判定を実現する予定です。

重要なプロセスの特定

当社は、精密ボールの製造プロセスの中で、特に品質問題が発生しやすいプロセスを重要プロセスとして特定しており、品質監視の強化とプロセス改善に取り組んでいます。最終的な洗浄と包装のプロセスでは、それぞれの処理溶剤の管理を強化し、**自動警報システム**により防錆油の塗布不足を防止しており、プレスプロセスに**自動異常監視装置**を設置するとともに、CQI9に基づいて熱処理プロセスの管理状況を検査しています。原材料については、原材料製造業者に自社監査の実施と監査の強化を促すことに加えて、原材料製造業者の監査を行っており、材料の受領時に品質を確認しています。

品質に関する苦情への対応のプロセス

当社は、品質クレームなどの品質問題が発生した場合における独自のリスクマネジメントシステムを有しており、それぞれの拠点が最初にリスク評価を実施します。リスク評価の結果、一定の基準を超えた場合には、品質問題の早期解決のために問題が**リスク管理委員会**に報告されます。このプロセスはグローバルに共有されます。2020年度には、主要な拠点で47件の品質クレームに対応しましたが、リスク管理委員会への報告に至る重大度のクレームはありませんでした。

グローバル品質部門は、精密で不良ゼロの製品の製造を支援するだけでなく、より重要な点として、お客さまのニーズを上回ることの確保に重点を置いています。

さまざまな精密部品の真にグローバルな製造業者としての当社のリソースと専門知識は、広範囲に及びます。

TNグローバル品質部門と中央研究所は、お客さまとの密接な協力の下で、右の図のように主な開発活動に注力しています。

グローバル品質部門と中央研究所の組織



品質

新型コロナウイルス感染の拡大の影響は、世界経済の急激かつ大幅な減速をもたらし、2020年には世界の自動車生産、工作機械受注その他の要因が著しく落ち込みました。こうした状況の下で、ツバキ・ナカシマの最優先事項は、従業員、お客さま、その他のステークホルダーの健康と安全を確保し、地方自治体、および国の政策に従って感染拡大の抑制に努力することです。一時的に操業の停止または低下を余儀なくされた地域はありましたが、当社は、当社グループの強みの1つであるグローバルな生産体制を活用し、地域を越えて相互に補完することによって、安定供給の確保を目指しました。

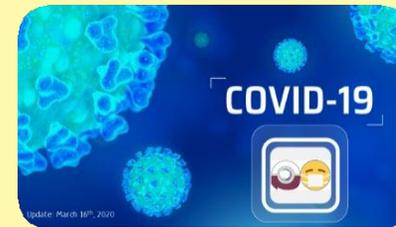
新型コロナウイルス パンデミックへの対応



ツバキ・ナカシマは、新型コロナウイルス感染がニュースになった直後にリスク管理委員会を始動し、COVID-19基本対応手順を策定しました。それ以来、入手可能なあらゆる情報を収集し、COVID-19の拡大と戦うための対策を実施してきました。2020年3月から、感染拡大防止への取り組みを共有し、連帯を強めるために、すべての工場とのミーティングを毎日開催しています。ツバキ・ナカシマは、手洗い、マスクの着用、出勤前に健康確認を実行することなどの自分と他者を守るための手段を講じるよう従業員に助言しています。発熱または風邪の症状がある従業員には、出社を控えるよう指示しています。オフィスビル、会議室や従業員食堂などでソーシャルディスタンスを保つことを可能にする対策を実施しています。席の配置を改め、会議室の定員を制限し、従業員に在宅勤務を奨励しています。さらに、地域と感染状況に応じて出張を制限または禁止しており、従業員はビデオ会議を通じたバーチャル会議やテレコンファレンスなどの代替手段を使用しています。

COVID-19

ガイドライン



[2020年3月]



[2020年9月更新]

これらのガイドラインの目的は、ツバキ・ナカシマの事業体、工場（「雇用主」）と従業員が、COVID-19パンデミックによって大きく変化した作業環境の中で安全かつ健康であり続けるように支援することです。以下の項目に関する助言を提供しています。

- リスク評価と適切な対策
- COVID-19接触機会の最小化
- 閉鎖期間後の作業の再開
- 在宅勤務者の管理
- 労働者の関与
- 罹患した労働者の保護

さらに、当社は最終的に、新たなISO/PAS45005:2020（労働安全衛生マネジメントーCOVID-19パンデミック下の安全な労働のための一般指針）を導入しました。



リスク管理委員会は、改善を実施し、危機が悪化した場合には直ちに対応するための準備を整える一方で、世界全体での感染状況の監視を継続することを決議しました。ツバキ・ナカシマの生産販売拠点は、COVID-19により何か月かにわたって操業の停止または低下を余儀なくされましたが、グローバル生産体制を活かし、お客さまへの製品供給を継続しました。

中国では、移動制限の緩和に伴って2020年2月下旬から徐々に生産が回復しました。その他の地域での生産は2020年6月末に正常化しましたが、密接に状況を注視し続ける必要があります。

世界中のツバキ・ナカシマの組織と個々の従業員が、それぞれの地域社会でCOVID-19の影響を封じ込めるための活動を実施し、マスクの提供、ウイルスの影響を受けた従業員と家族への補助金による支援、後方支援、心理的支援のほか、地域社会、特に学校に、教室での授業と遠隔授業の両方のためのコンピューター機器を寄付し、ボスニアの高校への22台のPC、イタリアの中学校への20台のタブレットと2台のPCの提供を完了しました。



コロナウイルス
パンデミックへの対応

企業市民

COVID-19

当社グループは、世界で働いているすべての従業員が未来に向かって**1つになったワンチーム**として**進み**続けることを確保するために、統一したルールに基づいて人材を活用、育成し、確保しています。当社グループは、日本国内と海外の企業の買収を通じて発展してきました。特に、2017年に当社グループに加わった米国のNN社PBC事業部の企業文化は、主に日本国内のツバキ・ナカシマ本社で培われてきた文化とは大きく異なっており、当社グループ全体で統一されたルール、企業文化および組織体制を発展させ、展開することが必要となりました。その後の努力の成果として、「One Management + One Operation = One Team」の概念と、人種、言語および文化の違いを大切にし、調和させるツバキ・ナカシマの文化に基づく統一されたルール（**ワンチーム・マネジメントシステム**）を構築しました。さらに、当社は、ワンチーム・マネジメントシステムを基礎として、ダイバーシティを尊重し、**ビジョン・ゼロ**を実現する職場の創造を推進しています。

人に関する当社の コミットメント



One Management +
One Operation =

One Team

インクルージョン とダイバーシティ



ダイバーシティの尊重は、ツバキ・ナカシマの経営哲学の土台であり、人事に関する方針に反映されています。ダイバーシティは、先天的な特質であるか後天的な特質であるか、目に見えるかどうかにかかわらず、異なる性別、国籍、宗教、地域、教育、社会的地位およびLGBTのインクルージョンです。

当社グループは、日本だけでなく、米国、イタリア、ポーランド、スロバキア、オランダ、ボスニア、中国、タイ、インド、台湾にも生産拠点を有しており、それぞれの国で現地従業員が活動の先頭に立っています。当社は、グローバルに事業を展開している企業グループとして、国籍を問わず適材な人員を執行役に任命し、女性の活躍を促進し、障がいのある人を雇用することを通じて、多様な価値観を事業に活かし、ダイバーシティを推進することを目指しています。当社グループには30の異なる国籍の人々が所属しており、ダイバーシティは当社グループの重要な要素です。

例を挙げると、マネジメントコミッティ（7名）は4つの異なる国籍の代表で構成されています。女性の活躍の促進については、数値目標と行動計画を策定し、取り組みを進めています。仕事と出産、育児を両立させるために、育児休業制度を拡充しました。具体的には、対象となる子供の年齢を引き上げ、短時間勤務、時差勤務、テレワーク、半日有給休暇制度を導入しており、現地の法規制に従い、働きやすい職場環境を提供しています。

障がいのある人の雇用に関しては、地方自治体の機関と協力して障がいのある人の採用と支援に取り組んでいます。日本国内の障がいのある人の2020年度の雇用率は1.82%となっていますが、日本では当社は現在、仕事の範囲の拡大と雇用の増加のために専門機関と協力しており、今後もこの取り組みを継続します。世界のその他の地域では、障がいのある人の割合はさまざまであり、中国、イタリアで1%から2%、スロバキアで4%、ボスニアとポーランドでは8%となっています。



インクルージョン とダイバーシティ

グローバルミーティング

ツバキ・ナカシマは、グローバルな拠点の代表者のためのさまざまな（バーチャル）ミーティングとセミナーを開催しています。その一部は、製造、品質、エンジニアリング、販売、財務会計、人事、サステナビリティなどの分野です。サステナビリティシステム、品質マネジメントシステム、サステナビリティモノづくりプロジェクトなどに関するグローバルなプロジェクトを取り上げるものもあります。パンデミックの展開、対策について議論し、同僚を支援するために、少なくとも週1回、すべての施設とのバーチャルミーティングを開催しました。

採用

当社グループは、世界にとって不可欠な製品の製造を続け、さらなる企業成長を実現するために、適切な人材を採用、育成することにコミットしています。採用活動は原則として各拠点で行われ、重要な管理職の採用についてはツバキ・ナカシマ本社が関与します。「不平等ゼロ」方針の下で、ダイバーシティは大きな資産であると信じており、そのため、採用に当たって性別などの要因に基づく差別は存在しません。

人財開発

78 当社は、人財開発のための教育研修システムを確立しており、すべての従業員に、職場内と職場外のいずれにおいても正確かつ速やかに職務を遂行するために必要な知識、技能、技術を習得する機会を提供しています。ツバキ・ナカシマアカデミー（TNアカデミー）は、顧客価値の創造の強化を目指しています。

この目的で、管理職および将来会社を担う若手従業員に基礎的な技術、技能を教え、段階ごとに具体的な製造とマネジメントのタスクを実施することを通じてモノづくり（製造のアートとサイエンス）を体験させています。

これによって、従業員が異なる角度から仕事に取り組むことが促進されます。従業員は、**#MOTUS 4.0 APPROACH**を用いて、製造をより効率的にするための不可欠な技能を習得する学習も行っています。

ACADEMY



TNアカデミー

当社は、業務のための**能力（Competencies）**、**謙虚さ（Humility）**と**手腕（Ability）**のバランスが、当社の管理職の価値（Value）であるべきだと信じています。しかしそれ以上に、私たちの**姿勢（Attitude）**が成功をもたらすかどうかを左右する重要なカギとなり得ます。

$$V = (Ch + A) \times A$$

79 こうした理由で、ツバキ・ナカシマは、技術上、管理上の共通の知識を確保するための野心的な知識プラットフォームを立ち上げることを決定しました。最初の段階では、それぞれの拠点での事業の遂行において重要な役割を果たす工場長と、（厳しい選考プロセスと特別な組織的能力の評価を経て選出された）有望な従業員を対象に、工場マネジメント、人員マネジメント、倫理、安全衛生、環境、品質および基礎的財務に関するオンラインと「対面」のコースを開催しました。それぞれの工場が、当社の品質マネジメントシステムとグローバル・サステナビリティシステムに合致するすべてのレベルの人財開発計画を策定しています。

従業員の100%が2020年度中に1人あたり平均40時間を超える研修コースに参加し、このコースの60%はコンプライアンス、安全衛生と環境に充てられました。

人に関する当社の
コミットメント

2020年には、製品、プロセスの研究、イノベーションと新人エンジニアの加入の準備のための重要なプロジェクトが、トリノ大学（イタリア）およびダブリン大学（アイルランド）と8名の学生の関与の下で開始しました。

ツバキ・ナカシマは、特に技術的分野で、世界全体から新たな若い従業員を幅広く探しています。下の写真（右側）は、当社のグローバルセラミックビジネス部門に加わった2名の若いエンジニアです。



80 新たな仲間

人に関する当社の
コミットメント

新たな従業員の研修

模範を示す

敬意と率直なコミュニケーション

誠実さ

勇気

顧客中心
戦略的思考

成長

価値ベースの意思決定

継続的イノベーション

納期

結果志向

変化の推進

働きかけ

ビジョン、目的および関係

インスピレーション

権威に委縮しない

人

文化的感受性

人のマネジメント

相反のマネジメント

経営理念から マネジメント能力へ

評価システム

常勤従業員とパートタイム従業員の評価基準は同一です。これは、昇給と昇進に際して条件が平等になることを確保するためです。従業員は、経営理念に関連する5つのカテゴリーに分けられたツバキ・ナカシマの15項目の能力に関して、目標の達成度（目標、目的のプロセス）と、行動、能力に基づいて評価されます（パフォーマンス評価と能力評価のプロセス）。

人に関する当社の コミットメント

グローバルな人財

ツバキ・ナカシマは、さまざま時点におけるさまざまな地域のお客さまのニーズの変化を正確に特定し、素早く対応するために、世界全体に拠点を有しています。**TNグループは、現在約3,500名の従業員を雇用しています。**高いパフォーマンスを発揮する多様な人材は垂直的統合を達成するために不可欠ですが、同時に、事業のビジョンおよび方針に関する当社の国内の業務部門と海外の会社の認識を一致させることが、極めて重要になります。**組織的能力の評価と後継者育成計画**のプロセスは、当社でのキャリアの次のステップまで育成し、到達させるタレントを特定するための2つのプログラムです。

管理職、取締役 および役員を選任

ツバキ・ナカシマは、グローバルな観点から組織、役割および人財を見直し、当社の事業戦略と絶えず変化する事業環境に最適化することによって、中期目標の達成を目指します。当社は、グローバルTNグループの主要な職務の役割と要件を定めています。

後継者育成計画も確立し、これらの職務に最適な人財が年齢、性別、国籍などを問わず選出されることを確保しています。各事業体で、将来のマネジメントの職務の候補を特定するために、それぞれの事業と機能のマネージャーに主に焦点を合わせた人事考課（**組織的能力の評価とパフォーマンス評価**）が実施されます。**後継者育成計画**も策定され、引き継ぎを可能にするための**内部および外部の両方の研修**が実施されます。360度評価が含まれるさまざまな方法で技能と能力に関する情報を収集し、将来のキャリアパスや能力開発計画を検討します。



人員構成と勤続期間

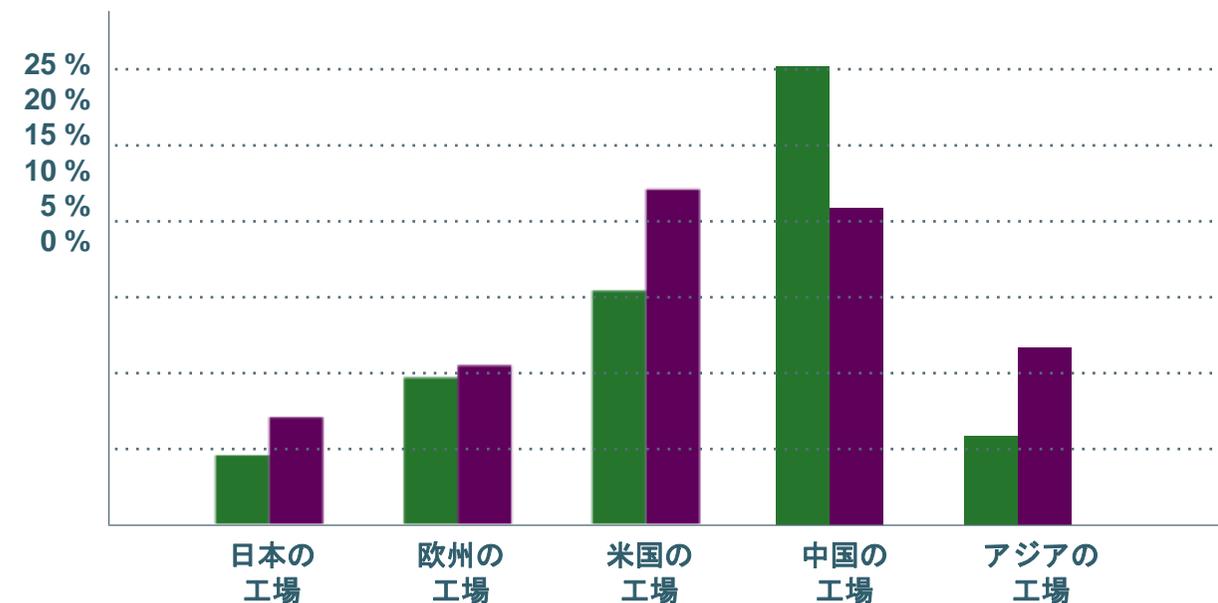
男性は全体の75%を占め、女性は25%です。ツバキ・ナカシマは製造企業であり、人間工学における努力によって、従来は男性職員が行っていた活動も含めて、多くの女性と障害のある人が当社に加わることが可能になったと信じています。

大半の工場で、マネージャー、部門長およびスーパーバイザーとして**女性が重要なマネジメントの役割**を果たしています。

2020年には、当社は女性従業員の割合を7%高めました。

勤続年数は工場の経過年数に依存しますが、全体として、当社の工場の大半では**離職は問題となっておらず**、個々の設定された目標の達成に影響を与えていないと考えています。中国を除くすべての地域の離職率が国の平均を下回っています。

2020年の当社の工場における離職率■と地域・国の平均との比較■



人に関する当社の
コミットメント

2020年の平均年齢：当社の工場の平均年齢は、すべての場所で経験、知識およびコミットメントを保証する水準にあります。

TN中国重慶	40
TN中国太倉	37
TN中国昆山	37
TN日本(セラミック)	39
TN日本	43
TNタイ	38
TNインド	37
TN欧州	45
TNボスニア	47
TNイタリア	51
TNオランダ	49
TNポーランド	35
TNスロバキア	41
TN米国ミシガン	44
TN米国ジョージア	44
TN米国Mシティ(テネシー)	45
TN米国アーウィン(テネシー)	48

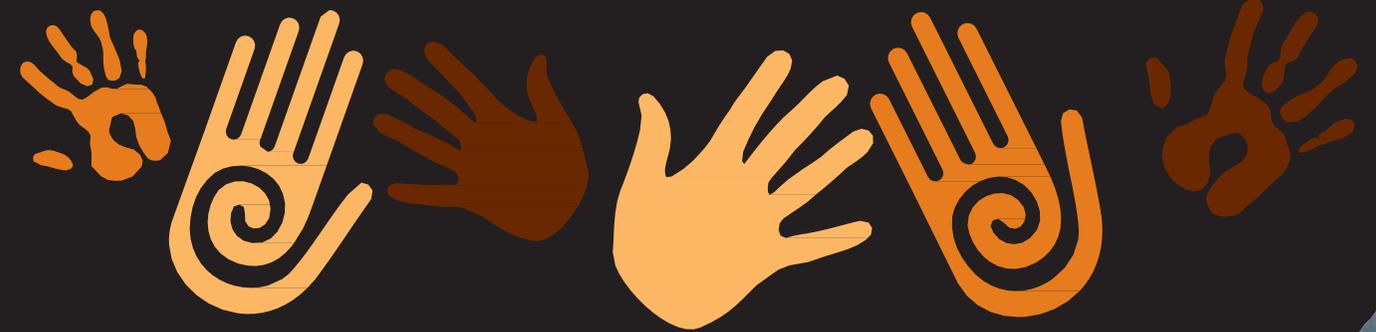
人に関する当社の
コミットメント

ツバキ・ナカシマは、世界全体の事業活動からあらゆる形式の差別と不公正な慣行を排除するために真剣に取り組んでいます。この姿勢は、国連グローバル・コンパクトへの当社の参加と、人権尊重、あらゆる形式のハラスメントと差別の防止、地域の文化と慣習の尊重、児童労働と強制労働の禁止、前向きな労使関係の維持などの領域におけるツバキ・ナカシマの強い信念を明記した人権および労働基準に関するツバキ・ナカシマのグループ方針に反映されています。ツバキ・ナカシマの人事部門は、グローバルな関係会社の人事部門と協力して、人権侵害、差別および不当労働行為を防止するイニシアティブを推進しています。

ツバキ・ナカシマは、児童労働、強制労働、その他の搾取的労働、労働者の権利、労働条件、差別、ハラスメントなどの人権上のリスクを事業リスクとして特定しています。

将来の類似する事件を防止するために、差別、不当労働行為、ハラスメントその他の人権侵害に対して当社が講じた懲戒処分などの措置について、定期的に全職員に通知しています。

人権の
尊重



BE EXCEPTIONAL賞

ツバキ・ナカシマは、PBCの買収後に2つの賞を設けました。1つは組織に関するもので、工場の中のベストプラント賞と最も改善した工場賞、もう1つは個人とチームに関するBX賞（Be eXceptional Award）です。

利益ある成長をもたらすために、Be eXceptionalな内容であることが必要

BX賞は、卓越した存在となり、他の人のインスピレーションと模範になる当グループ内の仲間、同僚の業績を表彰します。当社は、**前向きな行動、成果と成功を刺激し、賞賛**したいと考えています。企業としての成長と、当社の事業セグメントにおける世界的リーダーとしての行動は、各自が企業、地域／事業部、工場の中で果たす役割や担っている責任のレベルを問わず、私たちが実行するすべての事柄において並外れた成果と世界クラスの卓越性を実証しなければ、実現することはできません。当社の目標は、すべての従業員が参加し、勝利するチームの一員だという精神を実感することです。

2020年には82名の従業員が受賞しました

Tsubaki Nakashimaの賞



地域別受賞の推薦件数

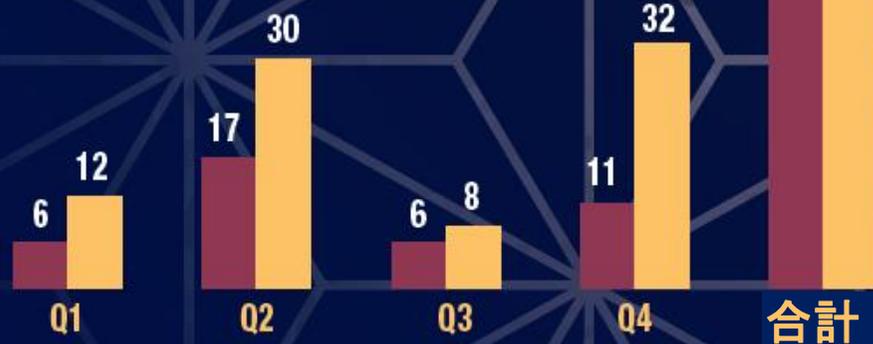


BE EXCEPTIONAL賞



2020年のBXプログラムの概要

■ 提出された推薦件数
 ■ 受賞した従業員数



Tsubaki Nakashimaの賞

ツバキ・ナカシマは、次の2つの賞を通じて、向上し、思考を深め、利益をともなって成長し続けるインスピレーションを私たちに与えた卓越性を**組織全体**で認定し、讃えることを目指しています。
お客さま、従業員および環境などの事業のすべての側面における継続的な卓越性の追及を認定する**ベストプラント賞**。
課題を克服し、より強靱で賢明に、より力強く回復した工場の能力を認定する**最も改善した工場賞**。
2020年は、世界全体、ツバキ・ナカシマ、当社の人々にとって、非常に困難な1年でした。こういう時にこそ、力を合わせ続け、一段とワンチームになり、結束、コミットメント、勇気、連帯、ビジョンを示すことが重要です。偉大な業績は認められ、賞賛されるのに値します。2020年には、ツバキ・ナカシマは次の4工場に賞を授与しました。日本の世知原のTJSが2年連続。2018年に受賞したことがある米州地域のTAMが2回目。および、1月末に最初にパンデミックに直面した中国の2工場、TCT（太倉）、TCK（昆山）が初受賞。



92

ベストプラント賞



93

最も改善がみられた工場賞

Tsubaki
Nakashima **の賞**

労働安全衛生

人に関する当社の
コミットメント

労働安全衛生へのアプローチ

ツバキ・ナカシマは、安全で衛生的な作業環境の提供、維持と、心身の健康増進が、健全な企業の基盤であると信じています。

そのため、当社は、安全衛生が企業の血液だという理解の下で、従業員とパートナーが、健康的な環境の中で、安全であり、保護されていることを認識しながらチームの一員として働くことを楽しめるように、世界全体の拠点で**安全衛生のシステムと活動**を導入しました。

この取組みの中核となる構成要素は、ISO45001（労働安全衛生）がその1つである**3つの最も重要なISO規格**に準拠して2018年度に確立され、すべての工場で段階的に展開されている**ツバキ・ナカシマ・グローバル・サステナビリティシステム（GSS）**です。このプロセスは2021年に完了する予定です。

GSSは、（その安全衛生の部分で）安全、健康、防火／防災および施設を取り上げており、ツバキ・ナカシマ独自のこのプログラムは、国際労働機関（ILO）のガイドラインにも適合する労働安全衛生マネジメントシステムに基づいています。

プログラムの開始からGSSマニュアルと手順書を施行し、**すべての職場がその安全を維持する責任を負う**という発想で職場を管理しています。



GSS



マネジメント委員会

スタッフの補佐

人事およびサステナビリティ
(グローバル/ローカル)

サプライチェーン
(グローバル/ローカル)

業務
(グローバル)

品質
(グローバル/ローカル)

財務
(グローバル/ローカル)

エンジニアリング
(グローバル/ローカル)

保守
(ローカル)

CEO

COO

EA/JC、L&B、GCB社長

地域/事業部門社長

工場長

部門長

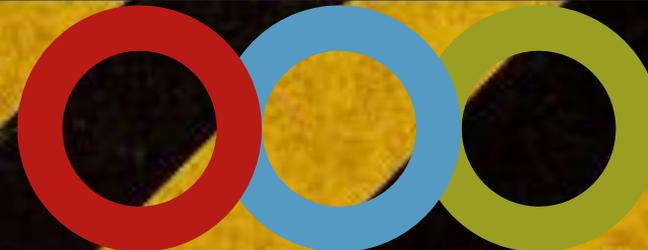
スーパーバイザー - チームリーダー/シフトリーダー

作業者

直接の責任

説明責任の ピラミッド

人に関する当社の
コミットメント



被災従業員数

25

傷害

23

861

労働損失日数

1

2020年度に
1件の重大
な労働災害*
が発生しま
した。



ツバキ・ナカシマの大半の工場
における労働災害の頻度と重篤
度は、**国の平均を下回り**、
2019年との比較でも低下しまし
た。

2020年には職
業病の事例は
ゼロでした。

0

*死亡または恒久的障害に至った災害

労働災害

人に関する当社の
コミットメント



ツバキ・ナカシマでは、全組織で情報を共有し、問題点と、**事故ゼロ、職業病ゼロの達成を目指す改善**の機会を議論するために定期的な会議を開催することで、世界全体における安全衛生プログラムの改善に取り組んでいます。マネジメントコミッティのレベルでは、隔週のミーティングの中で、経営幹部が実施した措置について相互に最新情報を伝え、改善の機会を見つけるための問題点の議論を行っています。地域と業務のレベルでは、マネージャー、スーパーバイザー、労働者代表とサステナビリティ担当者も定期的に会議を行い、情報を共有しています（**サステナビリティ委員会**）。グローバル・サステナビリティシステムに従って、すべての工場で年次マネジメントレビューを作成し、グローバルレベルで連携しています。

安全マネジメントのイニシアティブ

2019年から、以下の目的で、安全、健康および環境に関する国際的な技術規則（ISO）に基づいた**内部基準のシステム**を構築してきました。このシステムは最低技術基準と呼ばれています。

● ツバキ・ナカシマのすべての工場が、TNの経営理念、国際的基準と現地法に完全に準拠して、**傷害フリー、事故フリーで環境に対する悪影響を生じさせない方法により事業を運営**することを確保する。

● 最低限の技術基準を保証した**サステナビリティ計画**を策定するTNの工場の**義務**を明確に宣言する。

● ツバキ・ナカシマのすべての工場が、**一貫性のあるEHS・エネルギー基準**を用い、最も広く知られている方法（**Best Known Methods**）を**確立／共有**することを確保する。

最低限の期待事項の統一性を確立する方法として**最低技術基準**を用いており、**43を超える最低EHS&E技術基準**を策定してきました。

- 国際的な最低基準が含まれる手順
- 議論している事項のビジュアルな例
- 写真と図面を用いる詳細かつ完全な研修セッション
- それぞれのMTSに付属するMTS実施チェックリスト

MINIMUM TECHNICAL STANDARD		GSS-MTS	
AIR EMISSIONS MANAGEMENT			
APPROVED BY:	VERIFIED BY:	ISSUED BY:	REVISION DATE:
		NIKE ALLAM	APRIL 8, 2019
Policy: Every Plant must establish a program to ensure that air emissions generated by its operations are minimized and are managed in accordance with applicable local, regional, state and federal environmental laws and regulations, and Tsubaki Nakashima Co. Ltd (TN) Global Sustainability System (GSS) policies.			
Scope: This policy applies to all TN Plants worldwide that generate air emissions.			
Purpose and Principle: This policy supports TN GSS principles to eliminate or minimize environmental pollution from TN Plant operations.			
Essential Elements: Each Plant must identify all potentially hazardous air emissions generated by its operations, including direct and fugitive emissions, process leaks, and any other sources that emit contaminants into the air. A written plan must be developed that includes the following:			
<ul style="list-style-type: none"> ❑ An inventory of all potentially hazardous emissions released to the atmosphere including their composition, hazard class (e.g., flammable, corrosive), generation rate, location (facility layout), point of release and associated processes and operations; ❑ Verification that airborne releases are controlled as required by applicable laws and regulations or guidelines; ❑ A strategy to reduce air emissions, especially those that are harmful to human health or the environment; ❑ An identification of air emissions requiring permits; and procedures for obtaining such permits, keeping them current, and ensuring compliance with all permit conditions; ❑ Measures to prevent the inadvertent release of air emissions; ❑ Procedures by which personnel can respond appropriately to an accidental release to the atmosphere, including emergency shutdown, containment, evacuation and notification; ❑ Procedures to review proposed sources of air emissions prior to their installation to ensure emissions will be minimized and appropriate permits obtained. As part of this analysis, alternatives to allowing the emissions must be evaluated. 			
Accountability: Plant Management is responsible for the implementation of this policy.			

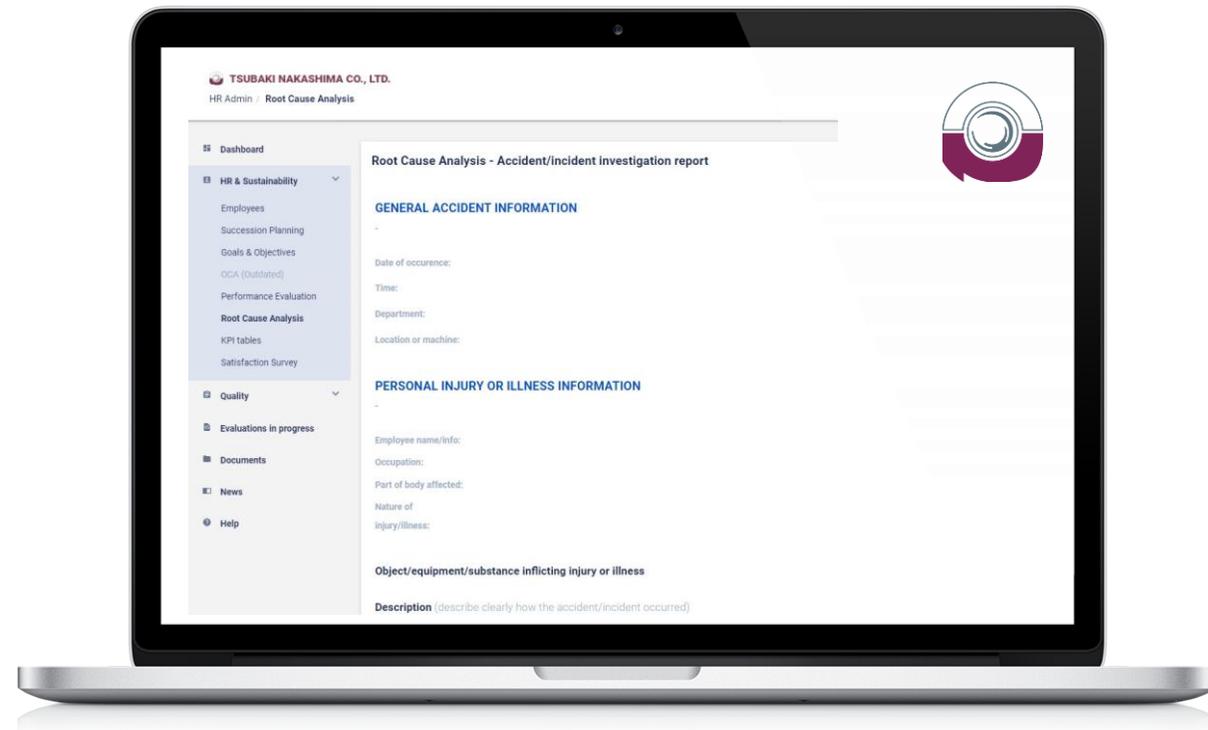
MINIMUM TECHNICAL STANDARD		GSS-MTS	
AIR EMISSIONS MANAGEMENT			
APPROVED BY:	VERIFIED BY:	ISSUED BY:	REVISION DATE:
		NIKE ALLAM	APRIL 8, 2019
Implementation Verification			
Confirm the following and ensure local requirements are being met:			
<ul style="list-style-type: none"> ❑ An inventory of all potentially hazardous emissions released to the atmosphere including their composition, hazard class (e.g., flammable, corrosive), generation rate, location (facility layout), point of release and associated processes and operations; ❑ Verification that airborne releases are controlled as required by applicable laws and regulations or guidelines; ❑ A strategy to reduce air emissions, especially those that are harmful to human health or the environment; ❑ An identification of air emissions requiring permits; and procedures for obtaining such permits, keeping them current, and ensuring compliance with all permit conditions; ❑ Measures to prevent the inadvertent release of air emissions; ❑ Procedures by which personnel can respond appropriately to an accidental release to the atmosphere, including emergency shutdown, containment, evacuation and notification; ❑ Procedures to review proposed sources of air emissions prior to their installation to ensure emissions will be minimized and appropriate permits obtained. As part of this analysis, alternatives to allowing the emissions must be evaluated. 			
Verification Date: _____			
Annual validation Date: _____			
Evaluation Completed By: _____			

人に関する当社の
コミットメント



事故報告による従業員の意識向上

ツバキ・ナカシマは、すべての業務上の傷害、災害を分析し、原因を特定し、**類似する事故の防止のための計画**を作成しています。労働災害は、暫定災害報告書と、災害の原因、対策、および、すべての拠点が将来の類似する災害を防止するために実行すべきアクションを記述した根本原因分析の形式で報告されます。これらの報告書はイントラネット（**One Teamソフトウェア**）に掲載され、従業員との間で議論が行われます。



安全衛生研修を通じた専門能力の開発

ツバキ・ナカシマは、安全衛生研修が従業員の保護のために極めて重要だと考えています。研修のカリキュラムは、従業員の地位、役割、責任に合わせて作られています。

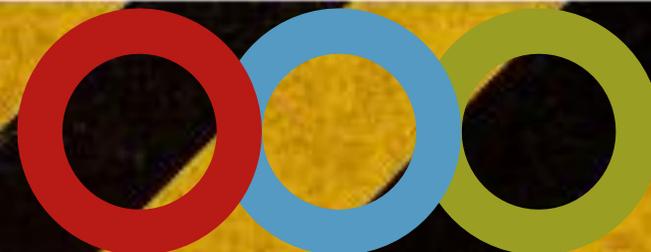
管理職以外の従業員の研修は、リスクアセスメントや危険予測などの実践的な手法に重点を置きます。**マネージャーとスーパーバイザーの研修**はリーダーシップに重点を置きます。当社グループのすべての会社が、**特別なESH研修が含まれる研修計画**を用いています。当社の最高人事責任者は、経営会議、地域の社長、およびすべての人事・サステナビリティチームのメンバーに対してグローバル・サステナビリティシステムと最低技術要件に関する研修を実施しました。



エンジニアリングマニュアル

2020年には、安全エンジニアリングマニュアルを作成しました。このマニュアルは、従業員の保護を確保するために機械ガードと電気的安全を設定し、維持する方法に関する詳細なガイドランスです。2021年には組織全体に同マニュアルを配備しました。

人に関する当社の
コミットメント



国際的なイベント と外部のイニ シアティブへの 参加

ツバキ・ナカシマは、その事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献し、無くてはならない企業になることを目指します。こうした理由で、当社は例えば次のような多数の協会、基金の会員になっています。



さらに、地域レベルの多数の団体に加入しているほか、当社が何を行っているかを共有し、他者から学ぶために、数多くの国際的な大会やミーティングへの支援と参加を行っています。

国際的なイベントと 外部のイニシアティブへの参加

BEARING WORLD by FVA

「ボールの特性はベアリングの騒音発生に影響を与える」という年次見本市でツバキ・ナカシマが ブロンズ・スポンサーを務めました



米国歯車製造業者協会
年次大会



カナダBC製造安全連合
国際リーダーパネル：COVID-19
教訓と成長、安全なコンファレンスにする
ブリティッシュコロンビア、カナダ

SHO
Portuguese Association for
Safety and Health
(ポルトガル安全衛生協会)
多民族、多文化の組織で
持続可能な企業文化を
作り出す方法
SHO年次大会 (ポルトガル)

SHO 2020
INTERNATIONAL SYMPOSIUM
OCCUPATIONAL SAFETY AND HYGIENE
16th and 17th July new date PORTO PORTUGAL

ORP FUNDACIÓN INTERNACIONAL

International Foundation for the
Organizational Risk Prevention
(組織的リスク防止のための国際
財団)

*Come crear una empresa multicultural,
sostenible, multinacional y multiétnica,
ORP meeting, Cartagena de India,
Colombia 2020*

*Nuevos escenarios de la gestión de personas” ,
Universitat Polytecnic de Catalunya,
Barcelona, Spain*

パンデミックのリスクと機会に関する
新たな視点：コロナ禍とアフター
コロナにおける人々のマネジメント

カタルーニャ工科大学 (ス
ペイン、バルセロナ)



国際的なイベントと
外部のイニシアティブへの参加



VISION ZERO
Safety. Health. Wellbeing.

International Social Security Association (ISSA : 国際社会保障協会) - グローバル・ビジョン・ゼロ経済人会議
パンデミックが引き起こした心理的および精神的困難と安全で健康的な行動を促進するための賢明な方法 (デンマーク)
災害、疾病、害のない作業の世界へのコミットメント
ビジョン・ゼロ経済人会議

**Safety
Governance
Institute**

安全ガバナンス機関、
オーストラリア
年次大会

IRF2020

第7回国際会議

完全性-信頼性-故障

フンシャル/ポルトガル、2020年9月6~10日

- 設計における機械工と材料に関する国際科学委員会コーディネート
- 金属疲労に対する微小な介在物と負荷の影響：実験的および解析的研究を通じた寿命の推定の修正
- 騒音と振動に対するベアリングの回転ボールの欠陥の影響の実験的分析
- アクティブサーモグラフィ技術を通じた鋼およびセラミックに関する振幅応答と熱位相反応の定量的比較

International Journal of
Fatigue

International Journal of Fatigue 2020年
転動体の寿命における微小な介在物の影響：実験的、微細構造的、解析的および数値的研究

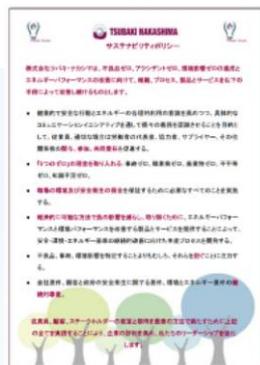
参加したイベント



国際的なイベントと
外部のイニシアティブへの参加

TNの**大気**

ツバキ・ナカシマグループが提供する精密ボールなどの製品は、最終製品のエネルギーパフォーマンスと効率の向上に貢献します。そのため、当社は、高品質の製品を供給するだけでなく、製造プロセスにおいて環境に**十分に配慮することが**、バリューチェーン全体の環境影響の低減に役立つと信じています。



私たちの環境



私たちのコミットメント

ツバキ・ナカシマは、不良ゼロ、事故ゼロ、環境影響ゼロに到達すること、および、エネルギーパフォーマンスの向上を目指し、以下の取組みを通じて組織、プロセス、製品、サービスの改善を続けます。

- **従業員**、存在する場合には**労働者**代表者、協力者、サプライヤーおよびその他の関係当事者の個々の責任に関する意識を向上させ、同時に、健康的で安全な行動を促進し、エネルギーの合理的な使用に関する認識を深めることを目的とする、特別なコミュニケーションのイニシアティブも通じたその**関与、参加と共同責任**
- サステナビリティアプローチの5Zの哲学を活かし、**事故ゼロ、職業病ゼロ、廃棄物ゼロ、不平等ゼロおよび知識不足ゼロ**の達成を目指す努力
- **環境保護と職場の安全衛生**を保証するために必要なすべての事項の実施
- エネルギーと環境に関するパフォーマンスを向上させることを目指す製品およびサービスの調達の手配によって、経済的に実行可能な方法で悪影響を低減し、解消するために、安全、環境およびエネルギーの標準の**継続的改善を志向する生産プロセスの開発**
- **不良、事故および環境影響**を特定することよりもむしろ**防止すること**へのコミットメント
- 会社、お客さま、政府からの健康と安全、環境とエネルギーに関する要求を**常に尊重すること**
- 定められた目的と目標に到達するために必要なリソースを配備し、適切なモニタリングと評価のツールを用いることによる安全衛生、環境およびエネルギー関連事項の**マネジメントとパフォーマンスの継続的改善**

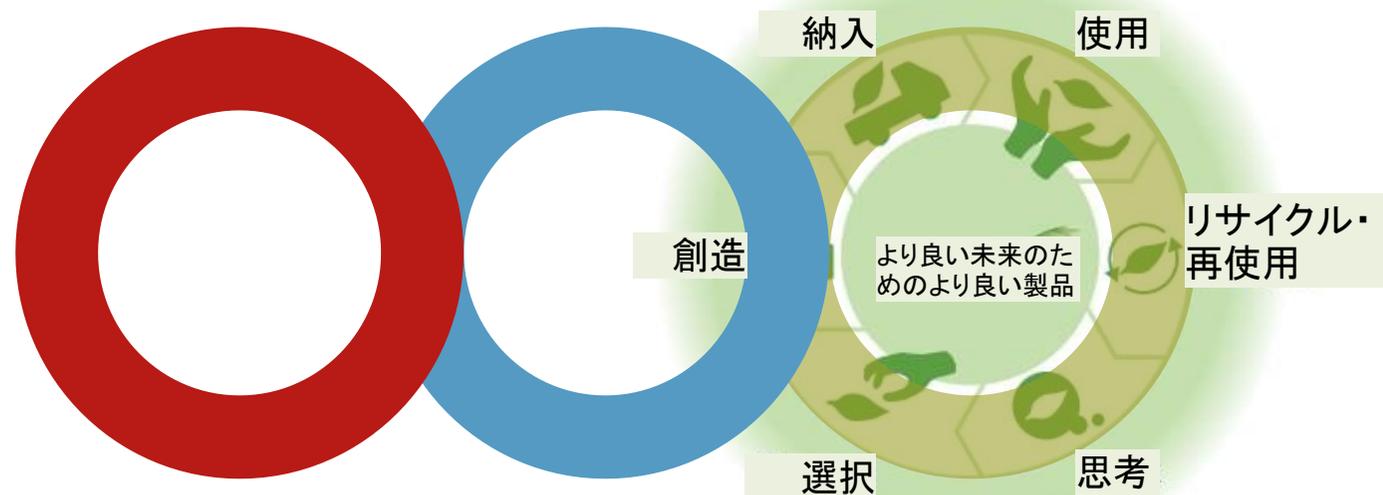
上記のすべての取組みが、従業員、お客さまおよび株主の要請と期待事項を可能な最善の方法で満たし、当社の名声を高め、リーダーとしての当社の地位を強化することに結びつきます。

資源の利用とサ ステナビリティ

ツバキ・ナカシマは、資源を消費し、その製品、サービスのライフサイクルにわたって事業活動を行う過程で、温室効果ガスなどの排出物を大気、土地、水に排出します。当社は、ISO14001:2015と当社のグローバル・サステナビリティシステムに示されている規格に従って、当社の影響を低減するために、バリューチェーン全体にわたる当社の事業活動の環境影響を評価しました。

ライフサイクル思考

ツバキ・ナカシマは、環境配慮製品を、製品のコンセプトからミッションの完了まで、すなわち、設計、製造から、輸送、使用およびリサイクルまでのライフサイクルのすべての段階に関して環境影響が考慮されている製品と定義しています。



私たちの環境

思考

当社のグローバル・サステナビリティシステムでは、特に最低技術基準の枠組みの中で、製造における化学物質の管理に重点を置き、可能な限り、非有害物質で有害物質を代替し、プロセス内で再利用しています。

選択

ツバキ・ナカシマは、環境パフォーマンスをもたらす製品を提供することを通じて顧客の環境影響を最小化する取り組みにおいて、ライフサイクル思考アプローチを採用しています。当社のほぼすべての製品は100%リサイクル可能であり、再生可能な鉄鋼、プラスチック、ガラス、セラミック、アルミニウムその他の材料を使用しています。

創造

気候変動方針、ライフサイクルアセスメント、公害防止、化学物質管理

輸送／バリューチェーン－当社はグローバルな製造拠点と地産地消をモットーとしており、お客さまの工場の近くで生産して提供し、輸送とマテリアルハンドリングも削減する取組みを行っています。

納入

使用

天然資源およびその他の資源の責任ある使用は当社のアプローチにおける鍵です。

リサイクル・再使用

油、クーラントなどの物質は可能な限り再利用しています。当社のすべての製品がほぼ100%リサイクル可能です。

当社は、環境配慮製品の創出を通じて、当社の環境影響低減努力を拡大するようにお客さまと協力しています。当社グループの主力製品である精密ボールは、排出を削減し、同時に、長距離輸送に起因する損傷や破損も防止するために、原則として現地消費向けの現地生産になっており、お客さまに近い地域で製造され、納入されます。原材料の調達、製造、販売、アフターサービスは、各拠点でそれぞれの製品と地域の特性に応じて遂行されますが、購買、品質保証および技術開発などの事業活動における重要なビジョンと方向性は、ツバキ・ナカシマ本社で策定され、各事業所に伝達されます。

私たちの環境

ツバキ・ナカシマは、世界全体のその工場の一つ一つの地域に対する影響を絶えず低減する努力、活動の監視、改善と、職員を対象とする意識向上イニシアティブを通じて(内部、外部の)環境を保護することにコミットしています。長年にわたって取得、更新してきたISO9001、IATF16949、ISO13485、ISO45001、ISO14001およびISO50001などの認証が、品質、環境、エネルギーと安全に対する当社のコミットメントを証明しています。

サステナビリティ のコミットメント

13

工場

当社の13の工場が環境
および／または安全および／または
エネルギーの認証を取得
しています。

13工場

20

件の証明書

6

工場
NCSなし

5工場

2工場



私たちの環境

指標と目標

当社は、当社の製品の環境パフォーマンスを向上させるための当社の効率的、コンパクトで精密な技術の活用、再生可能エネルギーの利用と、目標を達成するための事業活動の強化を通じて、バリューチェーン全体にわたる環境影響の低減に積極的に取り組んでいます。

責任ある鉱物の調達

スズ、タンタル、タングステン、金（3TG）とコバルトなどの鉱物が、コンゴ民主共和国（DRC）および隣接国などの紛争の影響を受けたまたは高リスクの地域で採掘されている場合には、これらの鉱物の採掘と取引による収入は、残虐行為や人権侵害に手を染めている武装集団と反政府勢力の資金源となります。これらの紛争の影響を受けたまたは高リスクの地域から調達される鉱物は、紛争、人権侵害と環境悪化を促進する可能性があります。ツバキ・ナカシマは、採掘が社会的および環境的リスクを伴う集約的プロセスであると考えており、紛争鉱物（3TG）、DRCで採掘されたコバルトなどの金属、鉱物の採掘と、その他の地域で採掘されたその他の鉱物が管理されなければならないと信じています。人権侵害または環境破壊に加担するのを望まないことは、ツバキ・ナカシマの方針です。当社は、紛争の影響を受けたまたは高リスクの地域に由来する鉱物を調達する際に、手段を問わず、何者によるいかなる形式の人権侵害または虐待も容認せず、故意に利益を得ず、それに加担せず、それを支援、促進せず、社会経済と環境の安定性の悪化をもたらす活動を支持しません。

温室効果ガス（GHG）排出量の削減

2015年パリ協定は、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比較して2°Cを十分に下回る水準に維持するという目標を定めています。ツバキ・ナカシマも、数年前に同一の方向の取り組みを開始しました。目標達成の可能性を高めるために、モデル拠点で排出量削減措置を研究した上で、他の拠点と共有しています。

排出量削減のための主な措置

- ▶ **生産のイノベーションと自動化**
- ▶ 工場のインフラ、太陽光発電システムなどの**更新された施設および設備**への投資
- ▶ 低炭素電力の購入とその他の**再生可能エネルギー**の使用
- ▶ GHG排出係数を低下させている**電力会社**によって達成されるその他の削減措置

製造プロセスにおけるイニシアティブ

当社のスチールボール工場の多くで、生成されるCO₂のトン数を製品1トンあたり1対1未満の比率、平均0.8まで削減しており、合理的なエネルギー使用に関するモノづくりプロジェクトの貢献によって、今後3年間でこの値が0.8未満まで低下すると予測しています。ローラー工場では、この比率は0.5です。

私たちの環境

ツバキ・ナカシマは、その長期的成長戦略に沿って生産が増加するにつれて、エネルギー使用量が増加すると予測しています。再生可能エネルギー（天然資源からのエネルギー）の使用は、GHG排出量を削減する最も効果的な方法の1つです。そのため、ツバキ・ナカシマは、長期的に再生可能エネルギーの使用を拡大する計画を進めています。しかし、費用や一部の地域における供給制約など、再生可能エネルギー使用の拡大には障害が存在します。当社は、こうした障害に関して1社が単独でできることがないことを認識して、1つの解決策として以下のように重要な政策提言を支持する宣言を行うことにしました。これらの提言が実現すれば、将来の気候変動に対する影響を最小化する措置を講じることが容易になります。協調したグローバルな行動が、気候変動と戦うために不可欠です。したがって、ツバキ・ナカシマでは、将来のこのような提言を支持することを含めて脱炭素化に向けた努力を続けます。具体的には、グローバル・サステナビリティシステムに従って、当社のすべての拠点と事業部門が省エネルギー対策を実施しており、当社の目標を達成するために再生可能エネルギーの使用を増加させています。



再生可能エネルギー源の導入に取り組んでいる工場

当社は、固定電力消費量を削減するために、すべての工場に蛍光灯と水銀等に代えてLEDを設置したほか、施設を更新する際には、その使用と、エネルギー消費が少ない高効率ボイラー、油圧ユニットその他の設備の導入を推進しています。ボイラーの更新や廃止による燃料消費量の削減、空調設備と圧縮機の効率的稼働を通じた電力消費量の削減にも取り組んでおり、太陽電池パネルの設置と電気自動車の使用も促進しています。

以下はその例です。



ツバキ・ナカシマ・イタリア - アスベストの屋根の撤廃と省エネルギー：アスベストの屋根の後継として、311.85kWpの合計945枚の単結晶太陽光発電モジュールを設置しました。

ツバキ・ナカシマは、すべての社用車が、当社の太陽光発電システムで発電されたまたは再生可能エネルギー生産者から購入したグリーンエネルギーを使用する電気またはハイブリッドでなければならないという新たな自動車方針を導入しました。



欧州

インド



ツバキ・ナカシマ・インドは、グリーンエネルギーに向かう動きを支援しており、容量60KWの屋上太陽光発電設備を設置しました。

再生可能エネルギー源を使用している工場

私たちの環境

120 再生可能エネルギーの使用

それに加えて、製造におけるエネルギー消費量を削減するために、モノづくりグローバル部門がCHROの支援を得て先導する新たなプロジェクトを2020年末に開始しました。

国際規格ISO50002は、エネルギーパフォーマンスの改善機会の特定につながるすべてのプロセスを定義しており、エネルギー監査のプロセスは、当社の工場がそのエネルギーパフォーマンスを改善し、エネルギー消費量を削減し、環境便益を得ることを可能にする具体的な活動の簡潔な時系列です。当社のグローバル・サステナビリティシステムは、ISO14001（環境）、ISO45001（安全衛生）およびISO50001（エネルギー）に基づいており、その完全な実施によって、当社の工場が以下の事項を行うことが可能になります。

エネルギーと環境の問題に関する
必須および任意の基準への適合

深い知見に達するためのエネルギーの
観点からのプロセスの分析

エネルギーパフォーマンスの
向上

エネルギー消費量監視システムの
導入／改善

内部でのエネルギーマネジメントシステムの
伝達と共有

省エネルギーが製品の購入より優先されること
のサプライヤーへの通知

効率性の高い設備および機器の
購入機会の評価

私たちの環境

資源／循環型経済の形成

ツバキ・ナカシマは、廃棄物が最小化される循環型経済の形成に貢献するために、生産プロセスにおける排出の削減と水資源の保全に取り組んでいます。

排出ゼロ

ツバキ・ナカシマは、ビジョン・ゼロのアプローチに従って、事業廃棄物の発生量の削減とリサイクルによる排出ゼロを目指す取り組みを行っています。廃棄物は、当社の生産プロセス、オフィスと操業で発生します。可能な場合には必ず、現場で廃棄物を削減し、再使用し、再利用します。例えば、成型プロセスからのプラスチックランナーは再利用されており、ReMidaプロジェクトはこのビジョンの重要な例となっています。その他の廃棄物は、価値のある廃棄物を含めて請負業者により再利用されます。廃棄物の選別と分離を慎重に行い、それぞれの種類に関して利用可能な最高のリサイクリング方法と請負業者を選択しています。

廃棄物の削減と廃棄物処理方法の全般的改善のための取り組み（リサイクル業者との提携が含まれます。）を今後も継続します。当社は、すべてのISO14001認証工場（合計13工場）で管理指標と具体的なKPIを採用しました。

廃棄物の削減

再生可能エネルギーの使用

廃棄物を資源へ変換

> ReMidaプロジェクト

モノづくりの哲学は、「スムーズな製造プロセス」に基づいており、これには、スムーズなプロセス、低騒音、環境に優しい製品、スラッジの削減、廃棄物の解消が含まれます。

ReMidaプロジェクトは、発生するスラッジの量を削減し、次に、リサイクル可能な製品にスラッジを転換するという目標を達成しなければなりません。当社は、内部の環境の改善によって、従業員の誇りとお客様の信頼が高まるとともに、ツバキ・ナカシマの輝かしい未来のために働くという意識がもたらされると強く信じています。

廃棄物ゼロプロジェクト



私たちの環境



スラッジバスケット



フィルタープレス



ブリケットマシン

脱水

プレス

硬化



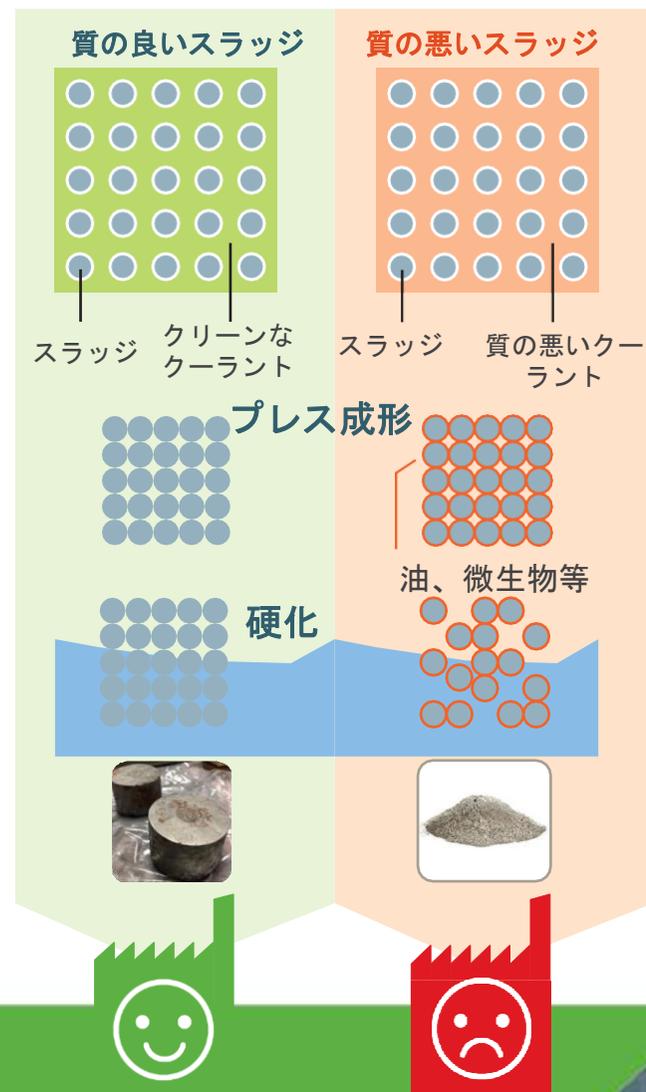
生産プロセス

スラッジ浄化プロセス

プレス成形

浸透処理とオープン

当社が良好なスラッジ品質を必要とする理由



クーラント

精密ボールの製造では、クーラントが加工に使用され、加工の過程でスラッジが発生します。スラッジの発生量を削減するために、当社は製造技術の向上に取り組んでいます。研磨プロセスで使用される水溶性切削液は、削りくずを除去してプロセスに戻す方法で再利用され、節水をもたらします。さらに、発生したスラッジを圧縮して水分を除去し、廃棄物の総量を削減するために、残留物を価値のある資源に変化させます。ボールねじの切削プロセスでも、ろ過と循環を通じて水溶性切削液を再利用するための同様な取り組みを行っています。

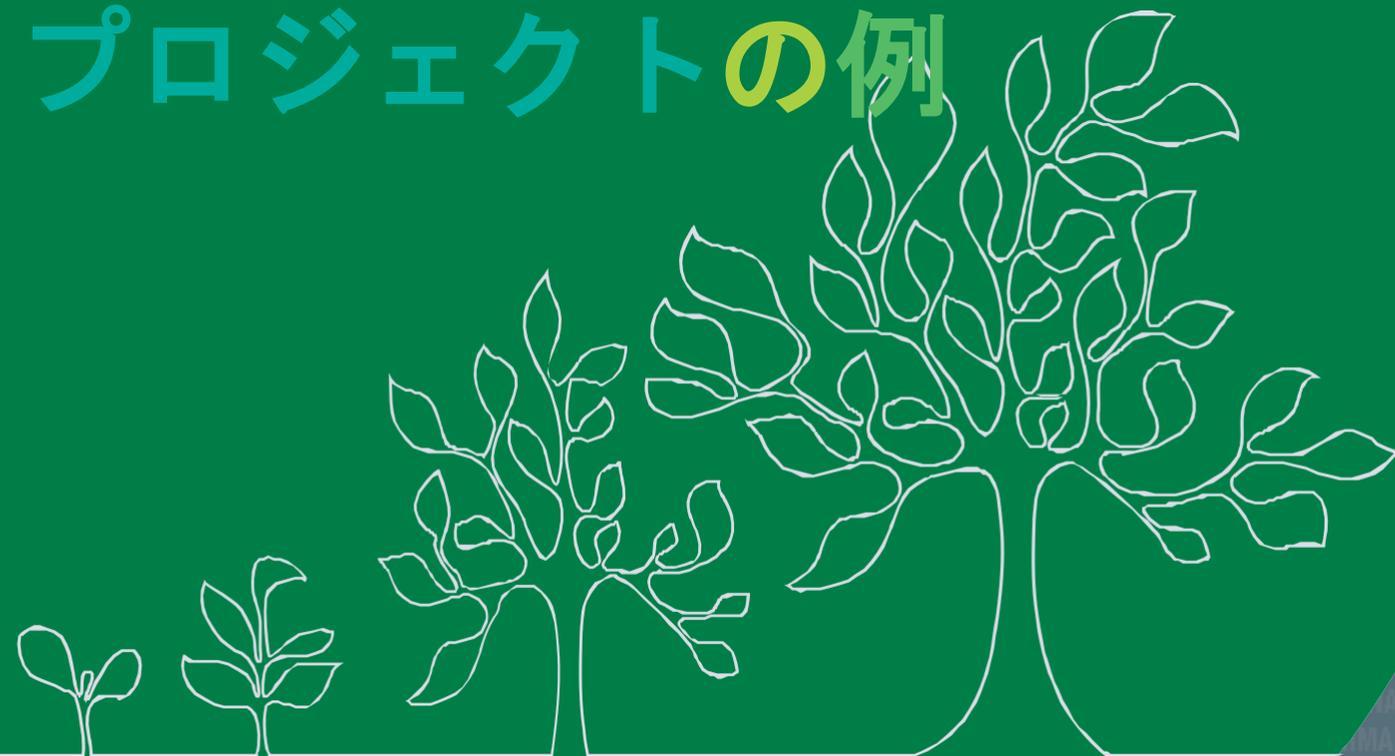
水資源の保全

水、気候変動およびその他の環境要因は密接に結び付いています。ツバキ・ナカシマの工場は水資源に依存しており、水資源のサステナビリティは事業の継続性に重大な影響を与えます。そのため、当社は、不要な汚染と使用を避け、使用する水を再利用することで、水資源の保全に取り組んでいます。当社は、生産プロセス内で再利用される産業排水の割合を高め、厳しい水質基準に適合するよう積極的に努力しています。よりエネルギー効率的な水処理設備の導入を含めて、当社の総合的な環境影響も軽減しています。当社の努力は、生産プロセスで使用される水に止まりません。すべての従業員が安全な飲料水と衛生的な洗い場、洗面所を利用することができることを確保しています。さらに、節水と水質汚濁防止の重要性に関する従業員の意識を高め、節水器具、衛生設備を設置しています。

当社グループは環境災害ゼロを報告しました

私たちの環境

サステナビリティプロジェクトの例



葛城 (日本)

効率を高め、水使用量を削減するための洗浄機の更新

クーラント使用量の削減 メッシュ型フィルターの廃棄物削減を可能にするクーラントろ過用の6基の遠心分離機

廃棄物処理場の屋根の設置

消防訓練

サステナビリティプロジェクトの例



オランダ



CRB研削ラインの排気のろ過による空気ろ過サイクル。このプロジェクトの目標は省エネルギーです。

送り込みシステムのホーニング盤の再設計：圧縮空気の使用を廃止した完全な機械式送り込みと、追加的な省エネルギー、騒音低減、作業現場の霧の減少。



前



後

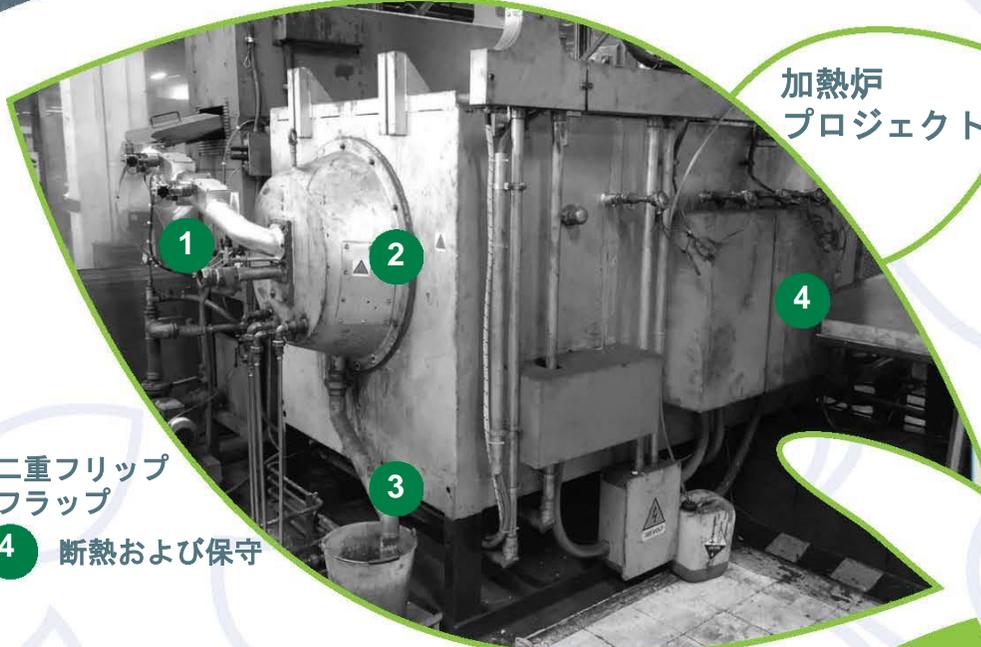
工場環境改善

太倉 (中国)

コニーツ (ボスニア・ヘルツェゴビナ)



サステナビリティ プロジェクトの例



加熱炉
プロジェクト

- 1 二重フリップフラップ
- 2
- 3
- 4 断熱および保守



消防

過去3年間にすべての目標に到達

-26%
窒素還元



ピネロロ
(イタリア)

シルバツサ
(インド)

サステナビリティ
プロジェクトの例

作業指示書への従業員
のアクセスの容易化 - 所与の作業が正
確に実施されている
かどうかいつでも確
認することが可能に

投入：熱処理と圧造の設
備、活性炭、電解槽
(フィルタースクリーン)
からの廃ガス

投入：焼入
油のリサイ
クリング

産出：廃液 (有害廃棄
物の外部委託)、焼入
油のリサイクリング

焼入油のリサイ
クルシステム

廃ガス処理
システム

産出：廃油 (有
害廃棄物の外部
委託)



昆山
(中国)



重慶
(中国)

サステナビリティ プロジェクトの例



工業清掃用クロス

具体的な削減を実現した有害廃棄物の種類（2020年対2019年）

油スラッジ	-36%
吸着剤、油分の覆い箔、紙くず、清掃用クロス	-20%
廃油	-22%
その他	-45%



- ・有害廃棄物量の削減
- ・安全な職場のための生産エリア内の油分の多い清掃用クロスの多い清掃用クロスの安全な収納庫の供給
- ・当社では使い捨て清掃用クロスに代えて再使用可能な清掃用クロスを使用

-31%

有害廃棄物の平均削減率

油スラッジろ過プロセスの一括実施。外部の企業が当社工場内でろ過を実行

-26%

スラッジ廃棄物の削減

- ・スラッジからの油の回収と生産での再使用
- ・油スラッジの重量の削減

- ・油スラッジ処分費用の削減
- ・（発送を容易にする）廃棄物サプライヤーの範囲の拡大

摩擦処理用針のプロセスからの廃棄物の回収

クラシニク（ポーランド）

サステナビリティプロジェクトの例

新たな研修室



前



後

圧造とスキャン・梱包
エリアの改修およびレ
イアウト変更



前



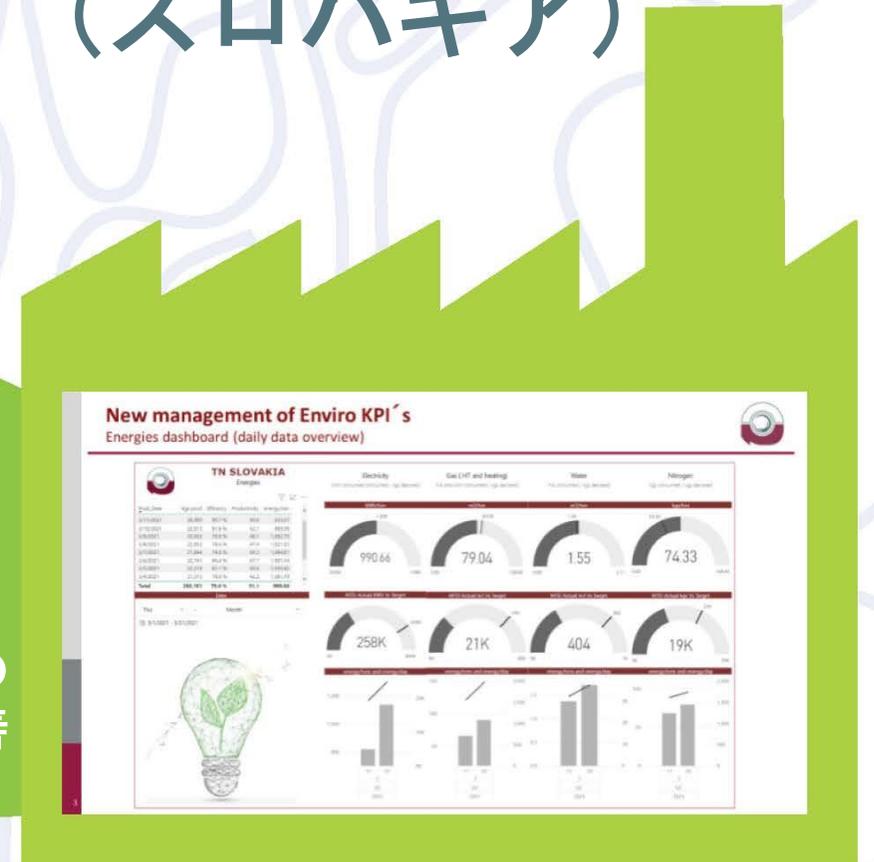
後



キスーツケ・ ノベ・メスト (スロバキア)

- ・ダッシュボードの作成
- ・すべての要素（電気、ガス、水、窒素）の常時チェック

全ての
指標が改善



サステナビリティ プロジェクトの例

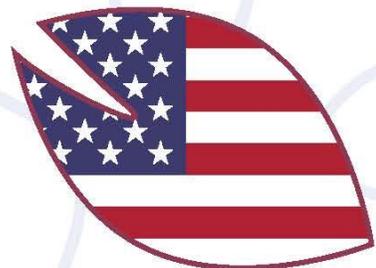
前



機器の適切な保守と清掃によってEHSと従業員の作業環境の質を改善



後

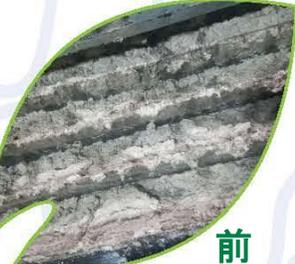


カミング (米国ジョージア州)

安全と維持管理に対する新たな注目



前



後



スー・セント マリー (米国ミシガン州)

リサイクリング
プログラム



141

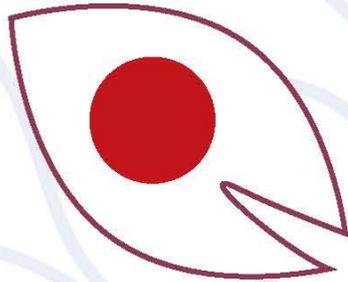


サステナビリティ
プロジェクトの例

140



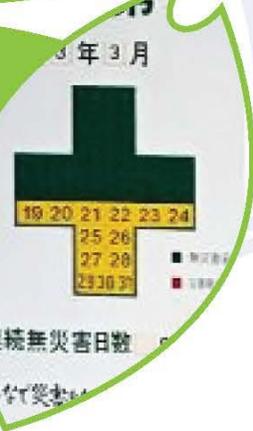
サステナビリティ研修



岡山 (日本)

948

無事故日数
(2021年2月末まで)



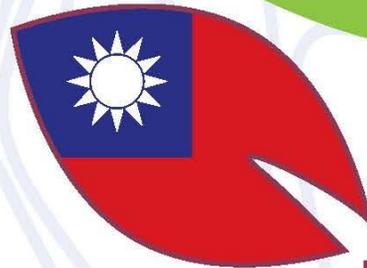
-20%

古くなった照明のLED照明への変更による省エネルギー

-3800

廃水からのIPAの分離によって削減されたリットル数

ラヨーン (タイ)



サステナビリティプロジェクトの例

当社は、当社のグローバル品質マネジメントシステムの一部として、サプライチェーン品質マニュアルを作成しました。このマニュアルは、当社がサプライヤーに要求する倫理的ルール、持続可能なマネジメントシステムと、安全、衛生、環境関連法の遵守を規定しています。持続可能なサプライチェーンを維持するために、当社はサプライヤーの定期監査を実施しています。各工場で実施される監査に加えて、グローバル品質保証部門も定期監査を実施しています。グローバル品質保証部門は、特に重要なサプライヤーの現地監査を実施し、サンプルを採集し、研究所で成分分析を行います。

サステナビリティと サプライヤー

定期監査の結果は報告書の形式でサプライヤーに開示され、指摘事項と是正事項が共同で確認されます。是正措置が講じられなかった場合には、当社は取引を停止します。2020年度には、新型コロナウイルス感染の拡大のために、現地監査を実施することができませんでしたが、2021年度に再開する予定です。また、欧州のRoHS指令と欧州REACH規則などの各地域の製品に含有される化学物質に関する規制を遵守するために、原材料の化学物質含有量の調査も実施しています。

サプライチェーンにおける事業継続計画のイニシアティブ

災害や紛争が発生した場合でも当グループが供給責任を果たせることを確保するために、当社グループは、購買業務に関する規則の中で、複数のサプライヤーから原材料を調達することを可能にする体制を確立しました。2020年度には、さまざまな地域の工場が新型コロナウイルスの感染拡大防止のためのロックダウンに直面し、政府の命令に基づいて操業を停止しました。さらに、当社は、在庫水準を調整し、操業が可能なサプライヤーと協力することができました。

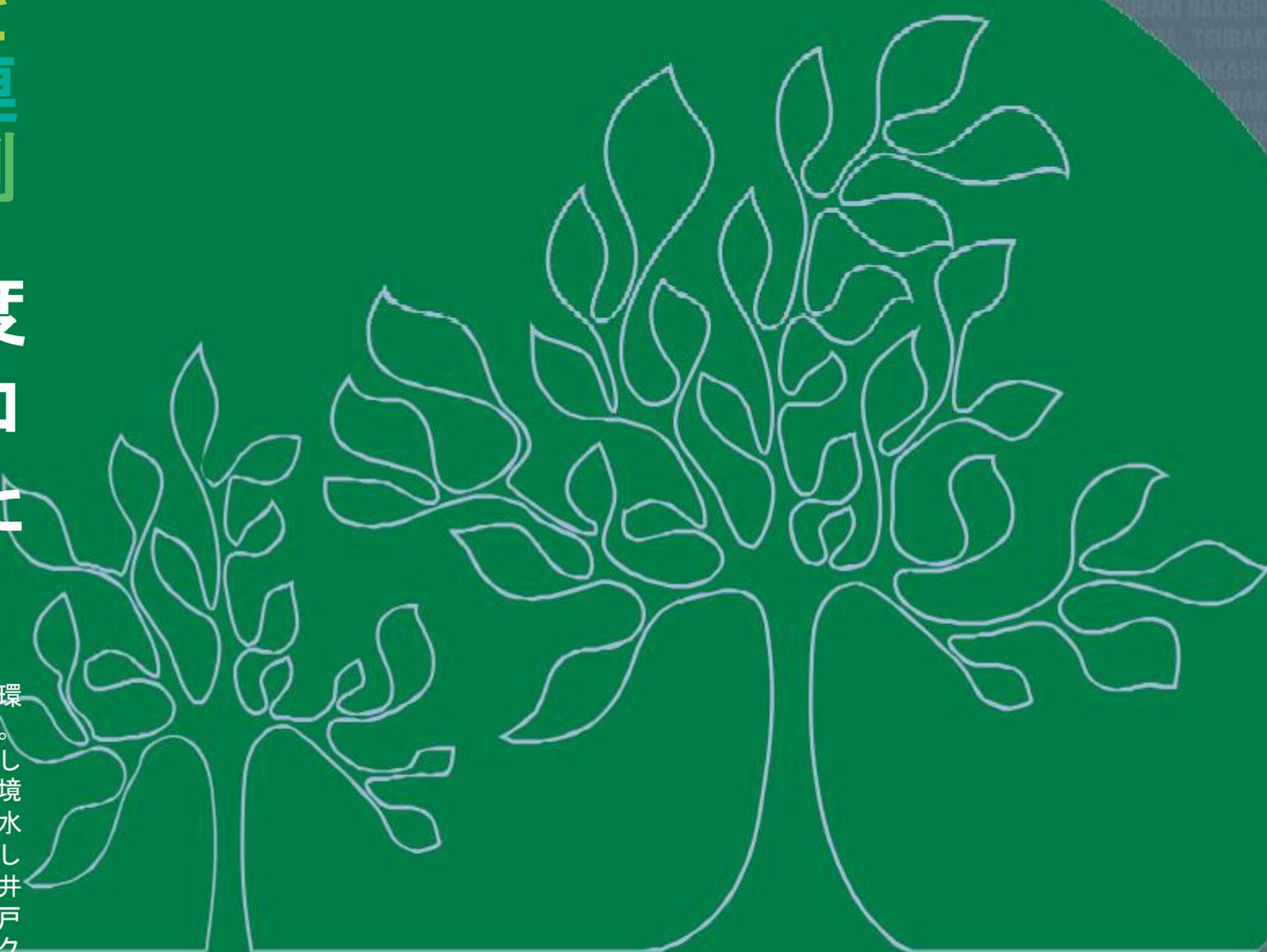


コンプライアンスと 環境関連 法規制

当社グループは2020年度 に環境関連法規制違反ゼロ を報告しました

環境汚染物質対策 – 葛城（日本）

2018年12月、奈良県が実施した調査によって、葛城工場の敷地の地下から環境基準を超えるトリクロロエチレンおよびその他の物質が検出されました。葛城工場では、以前に製造プロセスでトリクロロエチレンを使用していましたが、2006年から2008年にかけて実施した自主調査でこの物質が下水の環境基準を超えていることが判明してから、外部への漏出を防止するための揚水井戸と汚染水処理装置を敷地に設置し、継続的に浄化、監視を行っていました。地下水の測定、報告を行う義務はありませんでしたが、当社は、観測井からの取水の調査と掘削孔調査の実施を継続するとともに、浄化装置、井戸などの施設を用いて地下水汚染防止に努めてきており、2020年10月にトリクロロエチレンの使用も廃止しました。また、トリクロロエチレンが検出されたことを受け、国内各工場の状況を確認し、適切な対策を講じています。



GRI 101 : 基礎 2016
一般開示事項

組織のプロフィール

102-1 組織の名称

102-2 活動、ブランド、製品、サービス

102-3 本社の所在地

102-4 事業所の所在地

102-5 所有形態および法人格

102-6 参入市場

102-7 組織の規模

102-8 従業員およびその他の労働者に関する情報

102-9 サプライチェーン

102-10 組織およびそのサプライチェーンに関する重大な変化

102-11 予防原則または予防的アプローチ

102-12 外部イニシアティブ

102-13 団体の会員資格

GRI 102 :
一般開示事項
2016

章

沿革

製品、用途

グローバルな展開、実際の数値

グローバルな展開、実際の数値

組織図

製品、用途

私たち、構造、品質、人に関する当社のコミットメント

人に関する当社のコミットメント

サステナビリティとサプライヤー

沿革、改善を続け決して止まらない、サステナビリティとサプライヤー

ビジョンと経営理念、文化、倫理および価値観

国際的なイベントと外部のイニシアティブへの参加

国際的なイベントと外部のイニシアティブへの参加

ページ

8 - 9

48 - 59

10 - 15

10 - 15

15 - 17

48 - 59

16, 17, 26 - 41, 60 - 69, 74 - 93

74 - 93

141

6, 7, 8, 9, 141

18 - 25

104 - 109

104 - 109

GRI内容索引

GRI 101 : 基礎
2016 一般開示事項

戦略

102-14 上級意思決定者の声明

102-15 重要なインパクト、リスク、機会

倫理と誠実さ

102-16 価値観、理念、行動基準・規範

102-17 倫理に関する助言および懸念のための制度

ガバナンス

102-18 ガバナンス構造

102-19 権限委譲

102-20 経済、環境、社会項目に関する役員レベルの責任

102-21 経済、環境、社会項目に関するステークホルダーとの協議

102-22 最高ガバナンス機関およびその委員会の構成

102-23 最高ガバナンス機関の議長

102-24 最高ガバナンス機関の指名と選出

102-26 目的、価値観、戦略の設定における最高ガバナンス機関の役割

102-27 最高ガバナンス機関の集合的知見

102-28 最高ガバナンス機関のパフォーマンスの評価

GRI 102 :
一般開示事項
2016

章

ページ

CEOメッセージ

4 - 5

SWOT分析、背景

42 - 45

ビジョン、ミッションおよび経営理念、企業の社会的責任

18 - 25, 26 - 41

ビジョン、ミッションおよび経営理念、企業の社会的責任

18 - 25, 26 - 41

コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準

25 - 29, 30 - 31

GRI内容索引

GRI 101 : 基礎 2016 一般開
示事項

ガバナンス

102-29 経済、環境、社会へのインパクトの特定とマネジメン
ト

102-30 リスクマネジメント・プロセスの有効性

102-31 経済、環境、社会項目のレビュー

102-32 サステナビリティレポートにおける最高ガバナンス機関の役割

102-33 重大な懸念事項の伝達

102-34 重大な懸念事項の性質と総数

102-35 報酬方針

102-36 報酬の決定プロセス

ステークホルダー・
エンゲージメント

102-40 ステークホルダー・グループのリスト

102-41 団体交渉協定

102-42 ステークホルダーの特定および選定

102-43 ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ方法

102-44 提起された重要な項目および懸念

GRI 102 :
一般開示事項
2016

章

ページ

コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準

25 - 29, 30 - 31

コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準

25 - 29, 30 - 31

コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準、GSS

27 - 29, 30 - 41, 94, 95

コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準、GSS

27 - 29, 30 - 41, 94, 95

ステークホルダー

46 - 47

コンプライアンス

142

人に関する当社のコミットメント

74 - 93

人に関する当社のコミットメント

74 - 93

ステークホルダー

46 - 47

コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準

25 - 29, 30 -41

ステークホルダー

46 - 47

ステークホルダー

46 - 47

SWOT分析、現状分析

42 - 45

GRI内容索引

マテリアルな項目
200シリーズ（経済項目）

報告実務

102-45 連結財務諸表の対象になっている事業体

102-46 報告書の内容および項目の該当範囲の確定

102-47 マテリアルな項目のリスト

102-50 報告期間

102-51 前回発行した報告書の日付

102-52 報告サイクル

102-53 報告書に関する質問の窓口

102-54 GRIスタンダードに準拠した報告であることの主張

102-55 GRI内容索引

経済パフォーマンス

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

201-1 創出、分配した直接的経済価値

GRI 102 :
一般開示事項
2016GRI 103 :
マネジメント手法
2016GRI 201 :
経済パフォーマンス
2016

章

コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準

SWOT分析、現状分析

SWOT分析、現状分析

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない

GRI内容索引

SWOT分析、現状分析

沿革、改善を続け決して止まらない、企業の社会的責任、サステナビリティとサプライヤー、品質、TNの 대기

沿革、改善を続け決して止まらない、企業の社会的責任、サステナビリティとサプライヤー、品質、TNの 대기

沿革、改善を続け決して止まらない、製品、用途

ページ

25 - 29, 30 - 41

42 - 45

42 - 45

4, 5, 6, 7

4, 5, 6, 7

4, 5, 6, 7

4, 5, 6, 7

4, 5, 6, 7

146 - 171

42 - 45

8, 9, 6, 7, 14, 15, 26 - 41, 143, 110-117, 60, 70

8, 9, 6, 7, 14, 15, 26 - 41, 143, 110-117, 60, 70

6, 7, 8, 9, 48-59

GRI内容索引

GRIスタンダード	開示事項	ESGレポート 2020・ツバキ・ナカシマ	ページ
154	マテリアルな項目 200シリーズ（経済項目）	章	ページ
GRI 103 : マネジメント手法 2016	市場での存在感	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質	6, 7, 14, 15, 48-59
	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質	6, 7, 14, 15, 48-59
	103-2 マネジメント手法とその要素	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質	6, 7, 14, 15, 48-59
	103-3 マネジメント手法の評価	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質	6, 7, 14, 15, 48-59
GRI 202 : 市場での存在感 2016	202-1 地域最低賃金に対する標準新人給与の比率（男女別）	コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準、人に関する当社のコミットメント	25-29, 30-41, 74-93
	202-2 地域コミュニティから採用した上級管理職の割合	コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準、人に関する当社のコミットメント	25-29, 30-41, 74-93
GRI 103 : マネジメント手法 2016	間接的な経済的インパクト	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質、TNの大気	6, 7, 14, 15, 48 - 59, 110 - 140
	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質、TNの大気	6, 7, 14, 15, 48 - 59, 110 - 140
	103-2 マネジメント手法とその要素	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質、TNの大気	6, 7, 14, 15, 48 - 59, 110 - 140
	103-3 マネジメント手法の評価	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質、TNの大気	6, 7, 14, 15, 48 - 59, 110 - 140
GRI 203 : 間接的な経済的インパクト 2016	203-1 インフラ投資および支援サービス	品質	60 - 69
GRI 103 : マネジメント手法 2016	調達慣行	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質、サプライヤー	6, 7, 14, 15, 48 - 59, 143
	103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質、サプライヤー	6, 7, 14, 15, 48 - 59, 143
	103-2 マネジメント手法とその要素	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質、サプライヤー	6, 7, 14, 15, 48 - 59, 143
	103-3 マネジメント手法の評価	改善を続け決して止まらない、実際の数値、製品、用途、品質、サプライヤー	6, 7, 14, 15, 48 - 59, 143
GRI 204 : 調達慣行 2016	204-1 地元サプライヤーへの支出の割合	ステークホルダー、サステナビリティとサプライヤー	46, 47, 143

マテリアルな項目
200シリーズ（経済項目）

腐敗防止

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

GRI 203 :

間接的な経済的インパクト

2016

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

GRI 205 :

腐敗防止

2016

205-1 腐敗に関するリスク評価を行っている事業所

205-2 腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修

205-3 確定した腐敗事例と実施した措置

反競争的行為

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

GRI 103 :

マネジメント手法

2016

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

GRI 206 :

反競争的行為 2016

206-1 反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置

章

ページ

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない、ビジョン、
ミッション、経営理念、CSR

4, 5, 6, 7, 14 - 25, 26 - 41

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない、ビジョン、
ミッション、経営理念、CSR

4, 5, 6, 7, 14 - 25, 26 - 41

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない、ビジョン、
ミッション、経営理念、CSR

4, 5, 6, 7, 14 - 25, 26 - 41

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない、ビジョン、
ミッション、経営理念、CSR

4, 5, 6, 7, 14 - 25, 26 - 41

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない、ビジョン、
ミッション、経営理念、CSR

4, 5, 6, 7, 14 - 25, 26 - 41

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない、ビジョン、
ミッション、経営理念、CSR

4, 5, 6, 7, 14 - 25, 26 - 41

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない、ビジョン、
ミッション、経営理念、CSR、ステークホルダー

4, 5, 6, 7, 14 - 25, 26 - 41, 46, 47

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない、ビジョン、
ミッション、経営理念、CSR、ステークホルダー

4, 5, 6, 7, 14 - 25, 26 - 41, 46, 47

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない、ビジョン、
ミッション、経営理念、CSR、ステークホルダー

4, 5, 6, 7, 14 - 25, 26 - 41, 46, 47

CEOメッセージ、改善を続け決して止まらない、ビジョン、
ミッション、経営理念、CSR、ステークホルダー

4, 5, 6, 7, 14 - 25, 26 - 41, 46, 47

GRI内容索引

300シリーズ（環境項目）

エネルギー

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

GRI 103 :
マネジメント手法
2016

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

302-1 組織内のエネルギー消費量

GRI 302 :
エネルギー
2016

302-2 組織外のエネルギー消費量

302-3 エネルギー原単位

302-4 エネルギー消費量の削減

302-5 製品およびサービスのエネルギー必要量の削減

水

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

GRI 103 :
マネジメント手法
2016

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

303-1 共有資源としての水との相互作用

GRI 303 :
水と廃水
2018

303-2 排水に関連するインパクトのマネジメント

303-3 取水

章

ページ

現状分析、TNの 대기

42 - 44, 110 - 122, 130 - 140

現状分析、TNの 대기

42 - 44, 110 - 122, 130 - 140

現状分析、TNの 대기

42 - 44, 110 - 122, 130 - 140

TNの 대기、イニシアティブ、エネルギー認証、例

110 - 115, 116, 117, 118, 119, 120 - 122, 127 - 140

TNの 대기、イニシアティブ、エネルギー認証、例

110 - 115, 116, 117, 118, 119, 120 - 122, 127 - 140

TNの 대기、イニシアティブ、エネルギー認証、例

110 - 115, 116, 117, 118, 119, 120 - 122, 127 - 140

TNの 대기、イニシアティブ、エネルギー認証、例

110 - 115, 116, 117, 118, 119, 120 - 122, 127 - 140

TNの 대기、イニシアティブ、エネルギー認証、例

110 - 115, 116, 117, 118, 119, 120 - 122, 127 - 140

TNの 대기、イニシアティブ

110 - 115, 118, 119

GRI内容索引

300シリーズ（環境項目）

GRI 103 :
水と廃水
2018

水

303-4 排水

303-5 水消費

大気への排出

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

305-1 直接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ1）

305-2 間接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ2）

305-3 その他の間接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ3）

GRI 103 :
マネジメント手法
2016

305-4 温室効果ガス（GHG）排出原単位

305-5 温室効果ガス（GHG）排出量の削減

305-6 オゾン層破壊物質（ODS）の排出量

305-7 窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）、およびその他の重大な
大気排出物

章

ページ

TNの大気、イニシアティブ

110 - 115, 118, 119

GRI内容索引

300シリーズ（環境項目）

排水および廃棄物

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

GRI 103 :
マネジメント手法
2016

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

306-1 排水の水質および排出先

GRI 306 :
排水および廃棄物
2016

306-2 種類別および処分方法別の廃棄物

306-3 重大な漏出

306-4 有害廃棄物の輸送

306-5 排水や表面流水によって影響を受ける水域

環境コンプライアンス

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

GRI 103 :
マネジメント手法
2016

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

GRI 307 :
環境コンプライアンス
2018

307-1 環境法規制の違反

章

ページ

TNの 대기、イニシアティブ、廃棄物およびその他

110 - 115, 118, 119, 123 - 125

TNの 대기、イニシアティブ、廃棄物およびその他

110 - 115, 118, 119, 123 - 125

TNの 대기、イニシアティブ、廃棄物およびその他

110 - 115, 118, 119, 123 - 125

TNの 대기、イニシアティブ、廃棄物およびその他

110 - 115, 118, 119, 123 - 125

TNの 대기、イニシアティブ、廃棄物およびその他

110 - 115, 118, 119, 123 - 125

TNの 대기、イニシアティブ、廃棄物およびその他

110 - 115, 118, 119, 123 - 125

TNの 대기、イニシアティブ、廃棄物およびその他

110 - 115, 118, 119, 123 - 125

TNの 대기、イニシアティブ、廃棄物およびその他

110 - 115, 118, 119, 123 - 125

TNの 대기

110 - 115

TNの 대기

110 - 115

TNの 대기

110 - 115

コンプライアンス

144

GRI内容索引

400シリーズ（社会項目）

雇用

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

401-1 従業員の新規雇用と離職

401-2 正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当

401-3 育児休暇

労使関係

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

労働安全衛生

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

403-1 労働安全衛生マネジメントシステム

403-2 危険性（ハザード）の特定、リスク評価、事故調査

章

CEOメッセージ、沿革、改善し決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

KPI

CSR

CSR

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

CSR、人に関する当社のコミットメント

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

ページ

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25, 26 - 41, 73

6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25, 26 - 41, 73

6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25, 26 - 41, 73

85 - 87

26 - 41

26 - 41

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

26 - 41, 74 - 93

26 - 41, 74 - 93

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

74 - 93

74 - 93

74 - 93

74 - 93

GRI内容索引

400シリーズ（社会項目）

労働安全衛生

403-3 労働衛生サービス

403-4 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション

403-5 労働安全衛生に関する労働者研修

403-6 労働者の健康増進

403-7 ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和

403-8 労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者

403-9 労働関連の傷害

403-10 労働関連の疾病・体調不良

GRI 403 :
労働安全衛生
2018

研修と教育

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

404-1 従業員一人あたりの年間平均研修時間

404-2 従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム

404-3 業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合

GRI 103 :
マネジメント手法
2016GRI 404 :
研修と教育
2016

章

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人に関する当社のコミットメント、労働安全衛生

人財開発、若手従業員

人財開発、若手従業員

人財開発、若手従業員

人財開発、若手従業員

人財開発、若手従業員

人財開発、若手従業員

ページ

74 - 93

74 - 93

74 - 93

74 - 93

74 - 93

74 - 93

74 - 93

74 - 93

78 - 86

78 - 86

78 - 86

78 - 86

78 - 86

78 - 86

GRI内容索引

400シリーズ（社会項目）

ダイバーシティと
機会均等GRI 103 :
マネジメント手法
2016

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

GRI 405 : ダイバーシティと機会均等 2016

405-1 ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ

非差別

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

GRI 406 : 非差別 2016

406-1 差別事例と実施した救済措置

結社の自由と団体交渉

GRI 103 :
マネジメント手法
2016

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

GRI 408 :
結社の自由と団体交渉
2016

407-1 結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー

章

ページ

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25,
26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25,
26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25,
26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25,
26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25,
26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25,
26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25,
26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25,
26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17, 18 - 25,
26 - 41, 74 - 93

GRI内容索引

400シリーズ（社会項目）

児童労働

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

GRI 103 :
マネジメント手法
2016

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

GRI 408 : 児童労働 2016

408-1 児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー

強制労働

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

GRI 103 :
マネジメント手法
2016

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

GRI 409 : 強制労働 2016

409-1 強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー

地域コミュニティ

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

GRI 103 :
マネジメント手法
2016

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

GRI 413 :
地域コミュニティ
2016

413-1 地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所

413-2 地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト（顕在的、潜在的）を及ぼす事業所

章

ページ

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

CEOメッセージ、沿革、改善を続け決して止まらない、ビジョン、ミッションおよび経営理念、CSR、人に関する当社のコミットメント

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

ステークホルダー - 背景分析

42 - 47

コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準、人に関する当社のコミットメント、コロナウイルスパンデミックへの対応 - 企業市民

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準、人に関する当社のコミットメント、コロナウイルスパンデミックへの対応 - 企業市民

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

コーポレート・ガバナンス、CSRおよび国際的基準、人に関する当社のコミットメント、コロナウイルスパンデミックへの対応 - 企業市民

4, 5, 6, 7, 8, 9, 14, 15, 16, 17,
18 - 25, 26 - 41, 74 - 93

コロナウイルスパンデミックへの対応 - 企業市民

70 - 73

GRI内容索引

400シリーズ（社会項目）

社会経済面のコンプライアンス

GRI 103:
マネジメント手法
2016

103-1 マテリアルな項目とその該当範囲の説明

103-2 マネジメント手法とその要素

103-3 マネジメント手法の評価

GRI 419: 社会経済面のコンプライアンス 2016

419-1 社会経済分野の法規制違反

章

ページ

ステークホルダー - 背景分析

42 - 47

CSRおよび国際的基準、人に関する当社のコミットメント

25 - 41, 74 - 93

CSRおよび国際的基準、人に関する当社のコミットメント

25 - 41, 74 - 93

コンプライアンス

144

GRI内容索引

この出版物のグラフィックデザインは、イタリアの折衷主義芸術家であるMario Boisによって考案、創作されました。Mario Boisは、グラフィックデザイナー、ジャーナリスト、劇場と映画産業の俳優、監督、作家および詩人として活動しながら、さまざまな分野でその創造性を表現しています。彼は、今回のコンテンツを作成するにあたり新たな視点を誕生させ、創造的エネルギーを発揮できたことを心から楽しみました。



